
南中学校受水槽更新工事

令和7年8月

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
－	図面タイトル	－	E-01	電気設備 特記仕様・幹線設備平面図(新設)	S=1:200	M-01	機械設備 図面リスト	－
A-01	図面リスト	－	E-02	ポンプ室電灯コンセント設備平面図(新設)	S=1:50	M-02	特記仕様書(1)	－
A-02	特記仕様書(1)	－	E-03	幹線設備屋上平面図	S=1:100	M-03	特記仕様書(2)	－
A-03	特記仕様書(2)	－	E-04	幹線設備平面図(撤去参考)1	S=1:100	M-04	主要機器表	－
A-04	特記仕様書(3)	－	E-05	幹線設備平面図(撤去参考)2	S=1:100	M-05	案内図、配置図	S=1:1000
A-05	特記仕様書(4)	－				M-06	給水・消火設備系統図	－
A-06	特記仕様書(5)	－				M-07	受水槽・ポンプ室配管平面図(改修後)	S=1:50
A-07	特記仕様書(6)	－				M-08	受水槽廻り平面詳細図(改修前)、撤去機器表	S=1:50
A-08	案内図、配置図	S=1:1000				M-09	受水槽廻り配管平面図	S=1:100
A-09	計画配置図・仮設計画図	S=1:400				M-10	1階平面図	S=1:300
A-10	受水槽平面図	S=1:300				M-11	2階平面図	S=1:300
A-11	フェンス詳細図	S=1:20				M-12	3階平面図	S=1:300
A-12	物置詳細図	S=1:20				M-13	R階平面図	S=1:300
A-13	解体図現状配置図	S=1:300				M-14	高架水槽廻り平面図(改修前後)	S=1:50
A-14	解体図(1)(受水槽)	－				M-15	受水槽＋ポンプ室平面図(参考図)	S=1:30
A-15	解体図(2)(受水槽)	－				M-16	受水槽＋ポンプ室立面図(参考図)	S=1:30
A-16	解体図(3)(高架水槽)	－				M-17	受水槽＋ポンプ室平架台・基礎平面図(参考図)	S=1:30
						M-18	桧類詳細図、屋外配管埋設断面図	－
							合計 40枚(図面タイトルも含む)	

南中学校受水槽更新工事		工事設計図	令和 7 年 8 月（全 40 枚）																																									
<div>特記仕様書</div> <div>I 工事概要</div> <div><div>1. 工事場所</div><div>甲府市湯田二丁目21番24号</div></div> <div><div>2. 敷地面積</div><div></div></div> <div><div>3. 工事種目</div><div>建築工事 受水槽基礎 鉄筋コンクリート造</div><div>周囲フェンス、スチール製物置（基礎共）</div><div>設備工事 受水槽タンク（給排水配管共）、各種電源</div><div>解体工事 既存受水槽、フェンス+基礎、アスファルト、高架水槽、配管等</div></div> <div>4. 工事範囲</div> <div>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</div> <div>・「3. 工事種目」のうち 建築工事 の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</div> <table><tr><td>2 仮設工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr><tr><td>3 土工事</td><td></td></tr><tr><td>4 地業工事</td><td></td></tr><tr><td>5 鉄筋工事</td><td></td></tr><tr><td>6 コンクリート工事</td><td></td></tr><tr><td>7 鉄骨工事</td><td></td></tr><tr><td>8 コンクリートブロック・ALCパネル</td><td></td></tr><tr><td>・押出成形セメント板工事</td><td></td></tr><tr><td>9 防水工事</td><td></td></tr><tr><td>10 石工事</td><td></td></tr><tr><td>11 タイル工事</td><td></td></tr><tr><td>12 本工事</td><td></td></tr><tr><td>13 屋根及びびとい工事</td><td></td></tr><tr><td>14 金属工事</td><td></td></tr><tr><td>15 左官工事</td><td></td></tr><tr><td>16 建具工事</td><td></td></tr><tr><td>17 カーテンウォール工事</td><td></td></tr><tr><td>18 塗装工事</td><td></td></tr><tr><td>19 内装工事</td><td></td></tr><tr><td>20 ユニット及びその他の工事</td><td>周囲フェンス、スチール製物置</td></tr></table>					2 仮設工事	工事範囲すべて	3 土工事		4 地業工事		5 鉄筋工事		6 コンクリート工事		7 鉄骨工事		8 コンクリートブロック・ALCパネル		・押出成形セメント板工事		9 防水工事		10 石工事		11 タイル工事		12 本工事		13 屋根及びびとい工事		14 金属工事		15 左官工事		16 建具工事		17 カーテンウォール工事		18 塗装工事		19 内装工事		20 ユニット及びその他の工事	周囲フェンス、スチール製物置
					2 仮設工事	工事範囲すべて																																						
3 土工事																																												
4 地業工事																																												
5 鉄筋工事																																												
6 コンクリート工事																																												
7 鉄骨工事																																												
8 コンクリートブロック・ALCパネル																																												
・押出成形セメント板工事																																												
9 防水工事																																												
10 石工事																																												
11 タイル工事																																												
12 本工事																																												
13 屋根及びびとい工事																																												
14 金属工事																																												
15 左官工事																																												
16 建具工事																																												
17 カーテンウォール工事																																												
18 塗装工事																																												
19 内装工事																																												
20 ユニット及びその他の工事	周囲フェンス、スチール製物置																																											

2. 特記仕様書の表記

(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と ※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) ☐印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑦材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」〕の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。

①品質及び性能に関する試験データを整備していること。

②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、陶磁器質タイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、アルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、鋸前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、外装タイル張り用有機系接着剤、ポリマーセメントモルタル、

⑧ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑨ 技能士

適用工事種別は、下記の表の「防水工事・塗装工事」は適用とする。

その他は、努力義務とする。

(1.5.2)

適用工事種類	技能検定作業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート工事	・ 型枠工事作業 ・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業
コンクリートブロック ・ ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事	・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業

10 化学物質の濃度測定

(1.5.9)

(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。

(2) 測定対象室及び測定箇所は農務実験室とする。

(3) 測定は、バッシブ型採取機器により行う。

(4) 測定方法及測定結果の報告は、1ヶ所とする。

⑪ 完成時の提出図書

(1.7.1~3)(表1.7.1)

※完成図書 提出部数 ※(A3版 2つ折製本(3部)) 部

CADデータ ※提出する ・提出しない

※保全に関する資料 提出部数 ※2部 部



工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

分類・規格		撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等
・カラー	※キャビネ版	外部（ ）内部（ ）	※2 ・	※500万画素以上
		外観正面 （※1 ・ ）	※5 ・	
		・		
・カラー四切木製パネル		外部（ ）内部（ ）	※2 ・	※500万画素以上
・カラー半切木製パネル		外部（ ）内部（ ）	※2 ・	
・電子データ		外部（ ）内部（ ）	※2 ・	

電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。

- ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者

・任意

12 他工事又は他工種との取合い 工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。		⑤鉄筋工事（受水槽基礎図による）	1 鉄筋	鉄筋の種類	(5.2.1)															
⑬ 設計 G L	※図示		・（ ）	<table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ SD295A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考	・ SD295A			・ SD345			・			・			
種類の記号	呼び径 (mm)		備 考																	
・ SD295A																				
・ SD345																				
・																				
・																				
⑭ 火災保険等	原則として全ての工事において加入。 保険期間 ※火災保険の加入期間は、工期に14日以上の日を加えた日までとする。		2 溶接金網	形状等	(5.2.2)															
④地業工事	① 支持地盤	・ 杭基礎 (4.3.4.5)(4.5.4.5) 支持地盤の位置及び種類（基礎ぐいの先端位置含む） ・ 図示による（ ） ○直接基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎底部の位置含む） ○図示による（ 受水槽基礎図 ） 試験掘り（根切り底の状態の確認等） (3.2.1) ○行わない ・ 行う 位置等 ・ 図示による（ ） ・ 杭の載荷試験 (4.2.3) 試験の位置，方法等 ・ 図示による（ ） ・ 地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験の位置，方法等 ・ 図示による（ ）	3 鉄筋の継手	<table><tr><th>継手方法等</th><th>(5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)</th></tr><tr><th>部 位</th><th>継手方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱，梁の主筋</td><td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td><td></td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>・ 重ね継手 ・</td><td></td></tr><tr><td>その他の鉄筋（ ）</td><td>・ 重ね継手 ・</td><td></td></tr></table>	継手方法等	(5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)	部 位	継手方法	呼び径 (mm)	柱，梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・		その他の鉄筋（ ）	・ 重ね継手 ・			
	継手方法等	(5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)																		
	部 位	継手方法	呼び径 (mm)																	
	柱，梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手																		
	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・																		
	その他の鉄筋（ ）	・ 重ね継手 ・																		
	② 砂利地業	材料 (4.6.2) ○再生クラッシャラン  ・ 切込砂利及び切込碎石 砂利厚さ (4.6.3) ※60mm ・  示による 適用箇所 ・ 基礎梁下，土間コンクリート下，土に接するスラブ下 ○図示による（ ）	4 鉄筋の定着長さ	耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(2)） ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(3)） 継手位置図 (5.3.4) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1，6.1，7.1，7.3，8.1） 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)）																
	③ 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ (4.6.4) ※50mm 施工範囲 (4.6.4)(6.14.1) ・ 基礎梁下，土に接するスラブ下 ○図示による（ ） 設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1) ※18N/mm ² スランプ (4.6.4)(6.14.1) ※15cm又は18cm	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）	最小かぶり厚さ (5.3.5) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表4.1） 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・ 無し ・ 有り 適用箇所（ ） 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所（ ） ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm ・ 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・ 無し ・ 有り 適用箇所（ ） ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm ・ 鉄筋相互のあき（機械式継手及び溶接継手を除く） (5.3.5) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）																
	④ 床下防湿層	材料 (4.6.2) ○ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 (4.6.5) ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下																		

工 事 名 称		山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ubv.plala.or.jp		設計年月日	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
南中学校受水槽更新工事		吉野裕建築設計室		2025.08	特記仕様書（3）	-	A-04

⑥ コンクリート工事（受水槽基礎図による）	6	機械式継手	使用箇所 ・ 図示による（ ） ・ H12建告第1463号に適合する性能 機械式継手の種類及び工法（ ） 鉄筋相互のあき ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1） 品質の確認方法 ・ 図示による（ ） 不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による（ ）	(5.5.2)	(5.5.2)	(5.3.5)	(5.5.2)	(5.5.2)					
	7	溶接継手	使用箇所 ・ 図示による（ ） ・ H12建告第1463号に適合する性能 鉄筋相互のあき ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1） 継手の工法 ・ 図示による（ ） 品質の確認方法 ・ 図示による（ ） 不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による（ ）	(5.5.3)	(5.3.5)	(5.5.3)	(5.5.3)	(5.5.3)					
	8	各部配筋	各部配筋 ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図））	(5.3.7)									
	9	圧接完了後の試験	抜取試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験	(5.4.9)									
	1	コンクリートの 気乾単位容積質量による 種類及び強度	・ 普通コンクリート 設計基準強度（N/mm） ² ・ 24 ・ ・ ・ 軽量コンクリート 設計基準強度（N/mm） ² ・ ・	(6.2.1~4)									
	2	コンクリートの類別	類別 ※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・ Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）	(6.2.1)									
	3	セメント	種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G	(6.3.1)									
	4	骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B	(6.3.1)									
	5	混和材料	・ 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(i)による ・ ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(ii)による ・	(6.3.1)									
	6	気乾単位容積質量	・ 普通コンクリート ・ 2.3t/m ³ 程度 ・ ・ 軽量コンクリート 種類 ・ 1種 ・ 2種	(6.2.3)									
7	軽量コンクリート	適用箇所 ・ 図示による（ ） ・ 適用期間 ・ 図示による（ ） ・ ・ 積算温度を基に定める場合 ・ 図示による（ ） ・ 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・ マスコンクリート 適用箇所 ・ 図示による（ ） ・ セメントの種類 ・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント 混和材料 ・ 混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 ・ スランブ ※15cm ・	(6.10.1)	(6.10.1)	(6.11.1)	(6.11.2)	(6.12.2)	(6.2.1)(6.13.1)	(6.13.2)	(6.13.2)			
工事名称		南中学校受水槽更新工事		山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@luby.plala.or.jp 吉野 裕 建築設計室		設計年月日	2025.08	図面名称	特記仕様書（4）	縮尺	-	図面番号	A-05

11

無筋コンクリート

設計基準強度

※18 (N/mm)²

スランプ

※15cm 又は 18cm

セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

・高炉セメントB種 G

・フライアッシュセメントB種 G

適用箇所

※標準仕様書6. 14. 1 (e)による箇所

・図示による ()

(6. 14. 1)

(6. 14. 1)

12

流動化コンクリート

適用箇所

・図示による ()

(6. 2. 1) (6. 15. 1)

13

ひび割れ誘発目地
打継目地

目地寸法

・標準仕様書9. 7. 3による

間隔, 位置, 形状

・図示による ()

(6. 6. 3) (6. 8. 2) (9. 7. 3)

(6. 8. 2)

14

コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種 別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

(6. 2. 5) (6. 8. 3)

15

打増し厚さ
(打放し仕上げ部)

打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)

打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)

(6. 8. 2)

16

型枠

せき板の材料及び厚さ

・合板 (※12mm) G

・断熱材の兼用した型枠材の使用

・MCR工法用シート

打増し厚さ

・20mm

打増し範囲

・図示による ()

スリーブの材種

※標準仕様書6. 8. 3 (i) (2) (i) から (iv) による

(6. 8. 3)

(6. 8. 3)

(6. 8. 3)

(6. 8. 3)

15

左官工事

1 モルタル塗り

既製目地材

・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)

・設けない

床目地

・設ける (工法 ※押し目地)

・設けない

外壁タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験

・行う

・行わない

・防水剤

(15. 2. 2. 5)

2 床コンクリート
直均し仕上げ

③ セルフレベリング材
塗り

4 仕上塗材仕上げ

(6. 2. 5) (15. 3. 2)

下表以外は標準仕様書表6. 2. 5及び標準仕様書15. 3. 2による

施工箇所	平たんさ (mm)	備 考
・フリーアクセスフロア (支持調整式) 範囲	1mにつき10以下	
・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲	3mにつき7以下	
・		

・せっこう系

⊙セメント系

(15. 4. 2) (表15. 4. 1)

(15. 5. 2) (表15. 5. 1)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り)
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	
	・内装薄塗材E	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	
	・内装厚塗材C	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材L	・	上塗材 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状
	・可とう形複層塗材CE	・	
	・複層塗材Si	・	上塗材
	・複層塗材E	・	耐候性 ※耐候形3種
	・複層塗材RE	・	溶 媒 ※水系 ・溶剤系
	・防水形複層塗材CE	・	樹 脂 ※アクリル系
	・防水形複層塗材E	・	外 観 ※つやあり ・つやなし ・メリック
	・防水形複層塗材RE	・	
	・防水形複層塗材RS	・	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	
	・こて塗用軽量塗材	・	

工 事 名 称

南中学校受水槽更新工事

山梨県 甲府市 徳行3-3-25
TEL 055-222-6644
FAX 055-222-6100
ht.tps://sekkei-y.com
yao@ubv.pl a.l a.or.jp

吉野総建築設計室

設計年月日

2025. 08

図 面 名 称

特記仕様書 (5)

縮 尺

-

図 面 番 号

A-06

5

A L Cパネルの場合の下地処理

15.5.4

6

マスチック塗材塗り

15.6.2

7

ロックウール吹付け

15.8.2

22

舗装工事

1

路床

22.2.2, 3, 5

路床の材料

種 別	材 料	厚 さ (mm)
◎盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ◎建設汚泥から再生した処理土 G	・ 図示
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャラン G ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示 ・
・ フィルター層	・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・	・ 図示 ・

路床安定処理

・ 添加材料による安定処理

種類

・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 G
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 () ・ 消石灰 ()

添加量

kg (目標CBR ・ 5以上)

・ ジオテキスタイル

単位面積質量

・ 60g/m²以上

厚さ(mm)

・ 0.5~1.0

引張強さ

・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

・ 1.5×10⁻³ cm/sec以上

試験

砂の粒度試験

・ 行う ・ 行わない

路床土の支持力比 (C B R) 試験

・ 行う ・ 行わない

現場C B R試験

・ 行う ・ 行わない

路床締固め度の試験 (現場密度)

・ 行う ・ 行わない

2

路盤

22.3.2, 3, 5) (表22.3.1)

路盤の厚さ

・ 図示 ◎ t =200

路盤材料

・ 砕石
◎再生クラッシャラン G
・ クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・ 図示

試験

路盤締固め度の試験

※行う ◎行わない

3

アスファルト舗装

22.4.2~6) (表22.4.1~4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ

※図示 ◎ t =50

材料

アスファルト ◎再生アスファルト G ・ ストレートアスファルト
骨材
・ 道路用砕石
◎アスファルトコンクリート再生骨材 G

4

コンクリート舗装

カラー舗装

22.6.2~4) (表22.6.1)

種類・工法	部 位	基 層	厚さ(mm)
・ 加熱系	・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物	・ 車道及び駐車場 ・ 歩行者用通路	・ 無し ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装
・ 常温系	・ ニート工法 ・ 塗布工法		・ 3~5 ・ 1程度以下

舗装厚さの許容差

※標準仕様書 (22.4.2(C)) による

材料

加熱系混合物に添加する材料
・ 着色骨材 () ・ 自然石 ()
配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量
・ ニート工法及び塗布工法の配合等
試験 加熱系 標準仕様書(22.4.6(a)~(c))
抽出試験
・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

6

透水性

アスファルト舗装

22.7.2, 3, 6)

材 料	厚 さ (mm)
ストレートアスファルト	・ 図示

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平たん性

・ 行う ・ 行わない
※著しい不陸がないもの

設計年月日

2025.08

図面名称

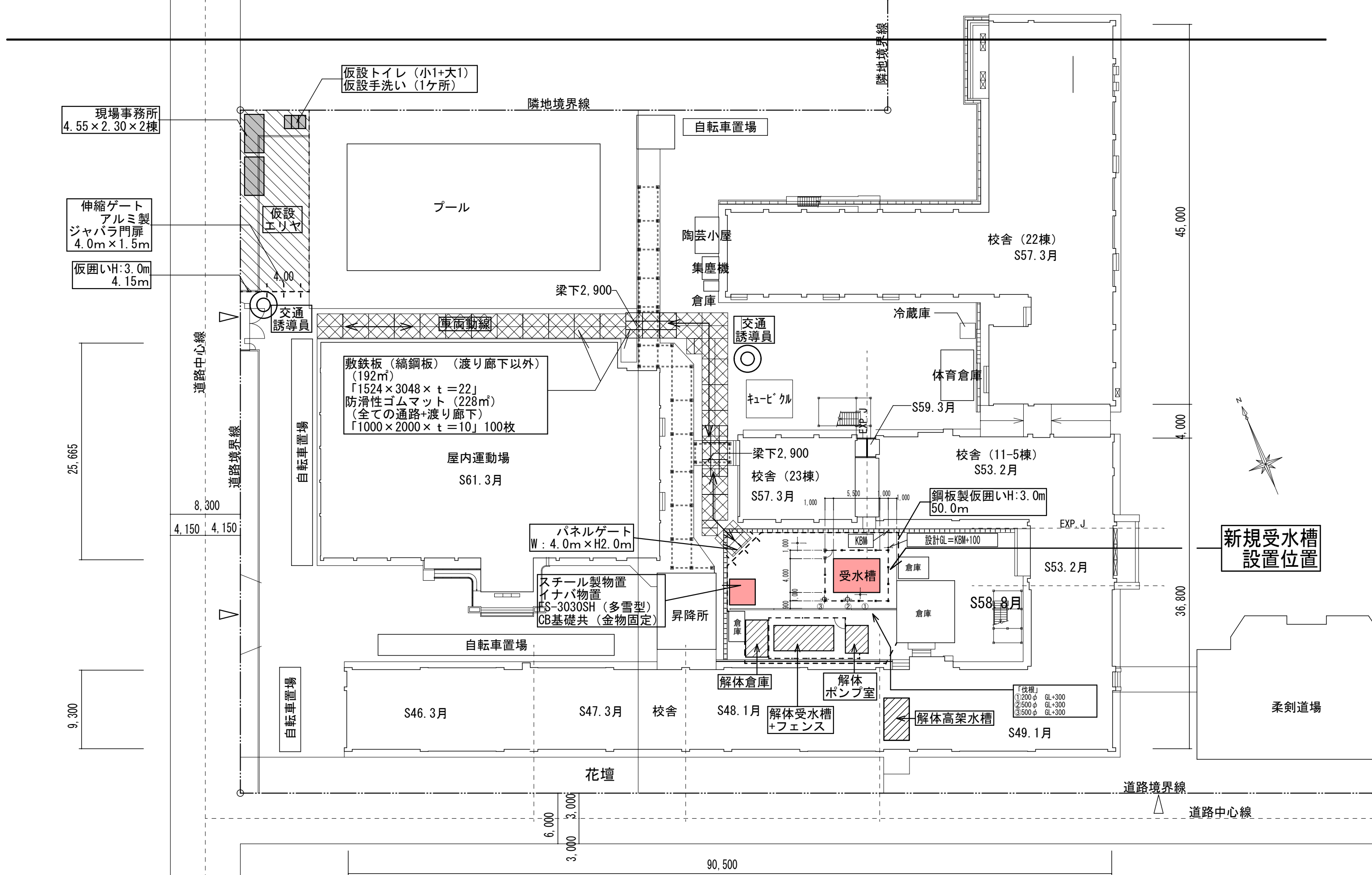
特記仕様書 (6)

縮 尺

-

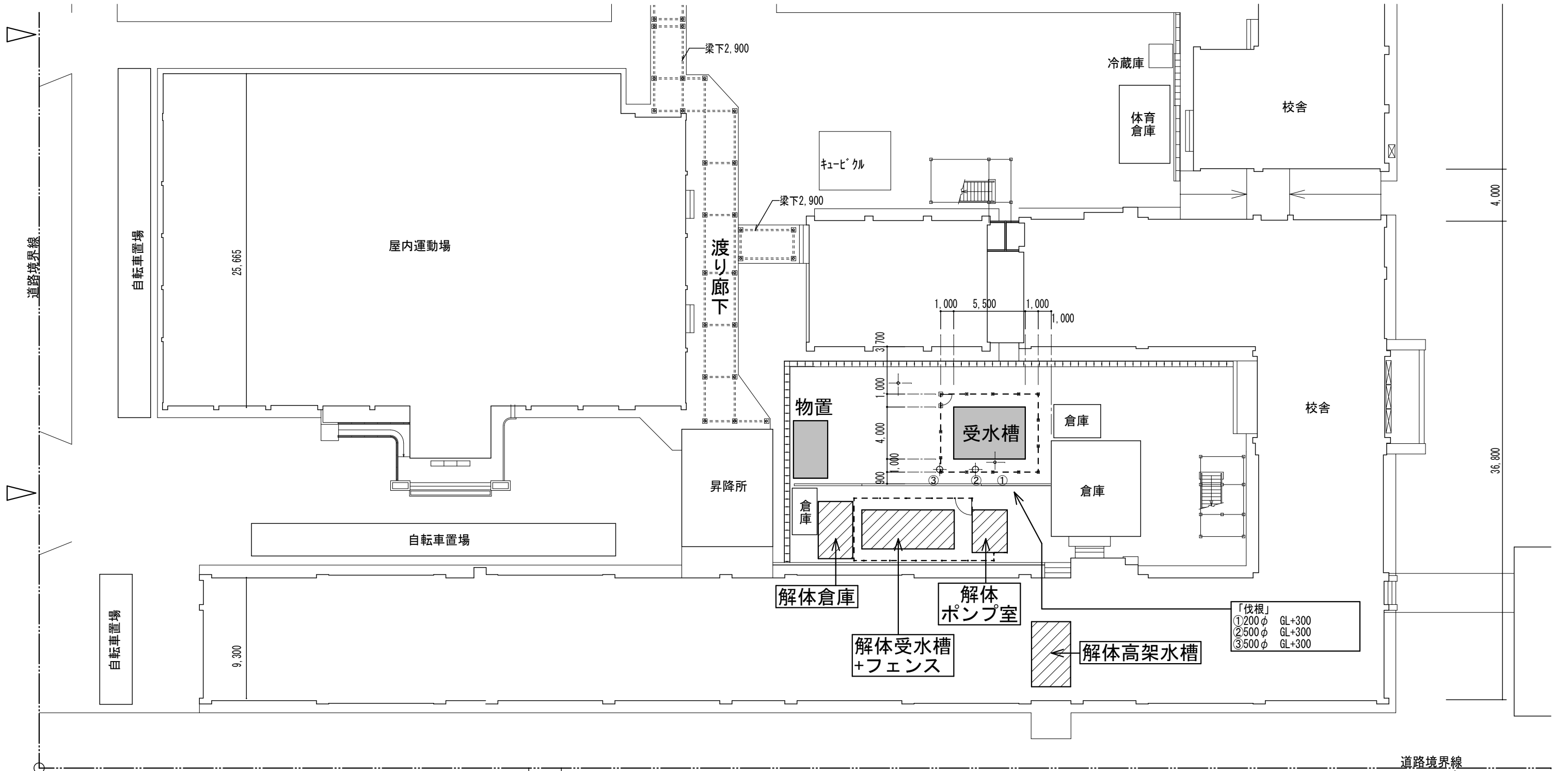
図面番号

A-07

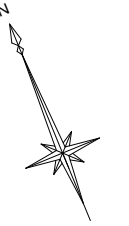


※発生材運搬における仮置き場等が必要な場合は、監督員と協議の上決定します。

工事名称	南中学校受水槽更新工事	吉野建築設計室 Yoshi no S. Desing Office 山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 ht.tps://sekkei-y.com yao@uby.pl a.l a.or..jp	設計年月日 2025. 08	図面名称 計画配置図・仮設計画図	縮尺 1 : 400	図面番号 A-09
------	-------------	--	-------------------	---------------------	---------------	--------------

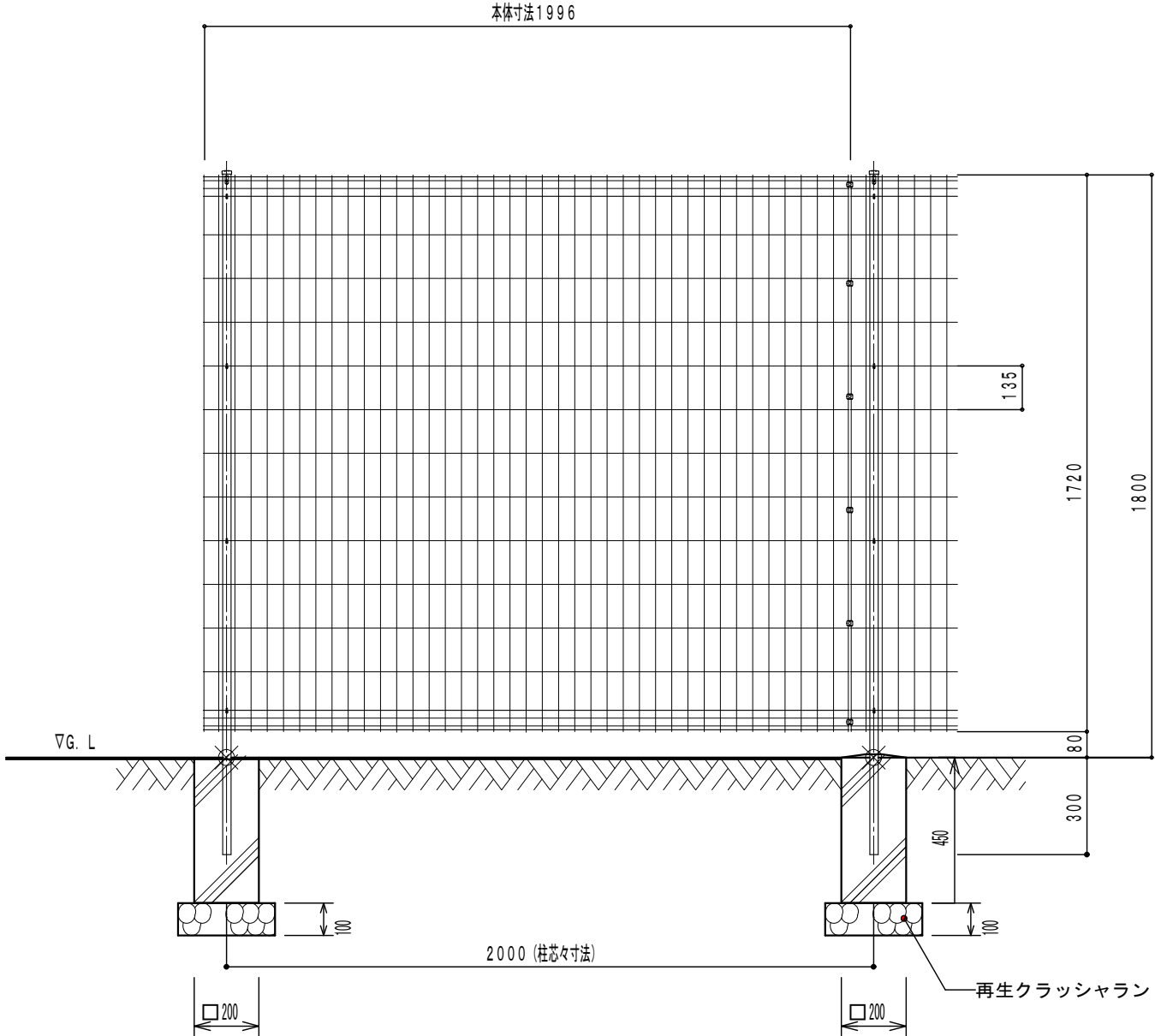


配置図 S=1:1000

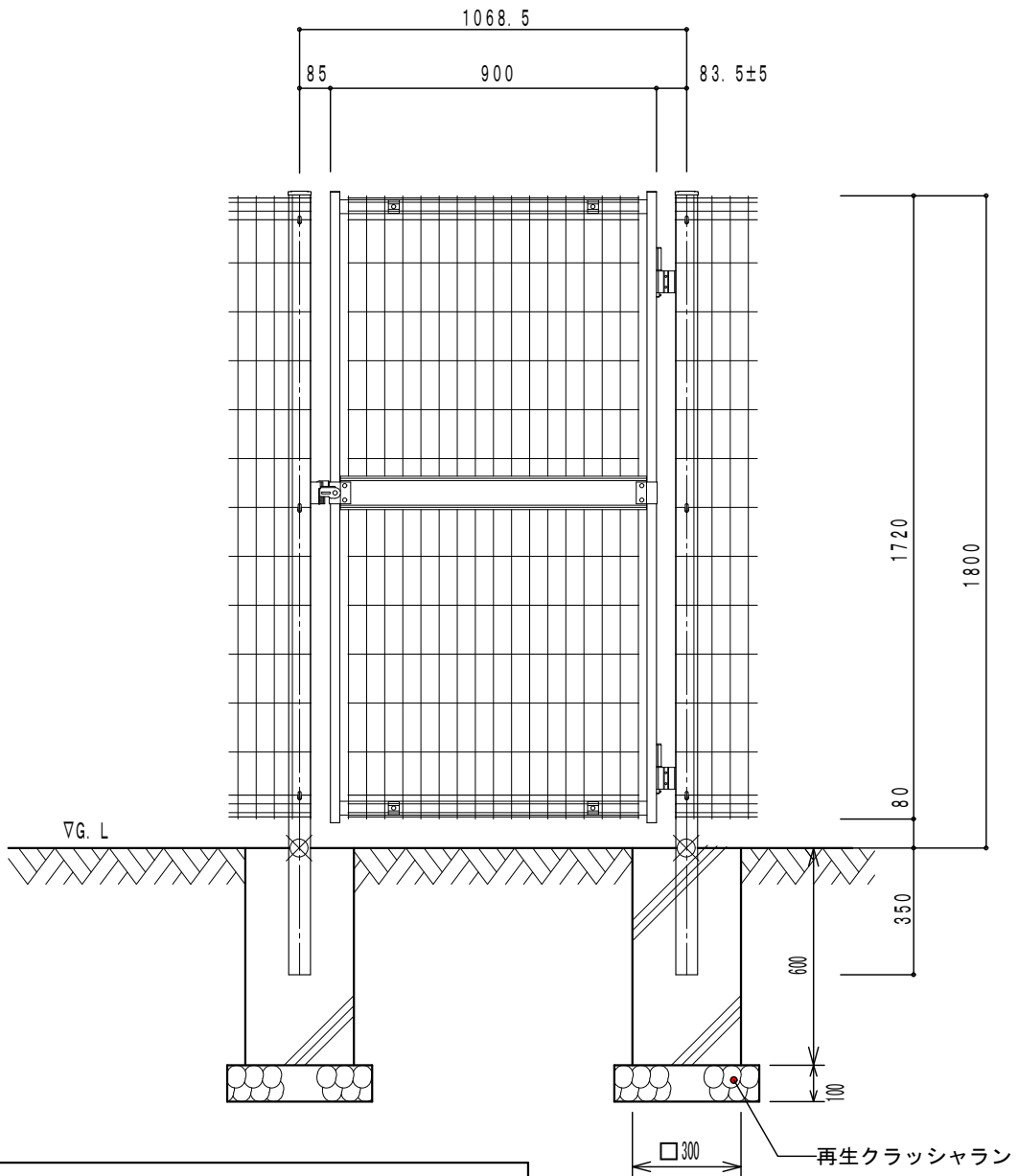


工事名称	南中学校受水槽更新工事	吉野総合建築設計室 Yoshino S Design Office 山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@luby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 受水槽平面図	縮尺 1:300	図面番号 A-10
------	-------------	--	------------------	----------------	-------------	--------------

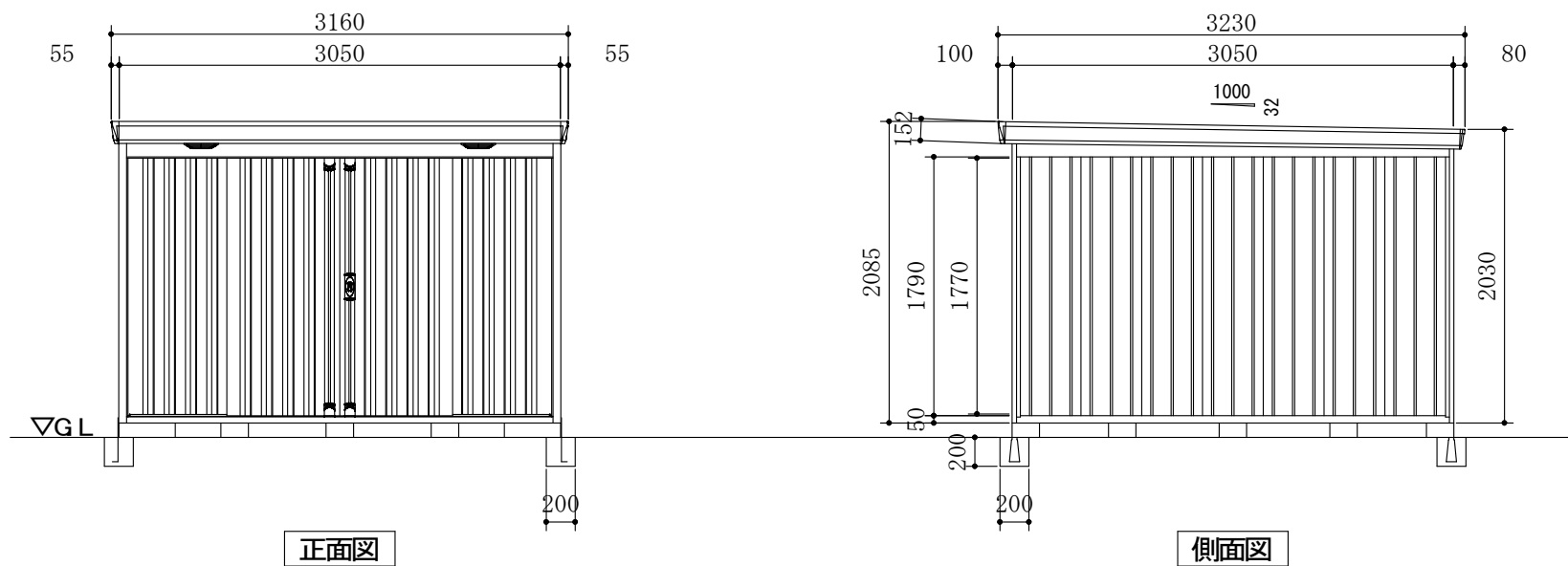
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

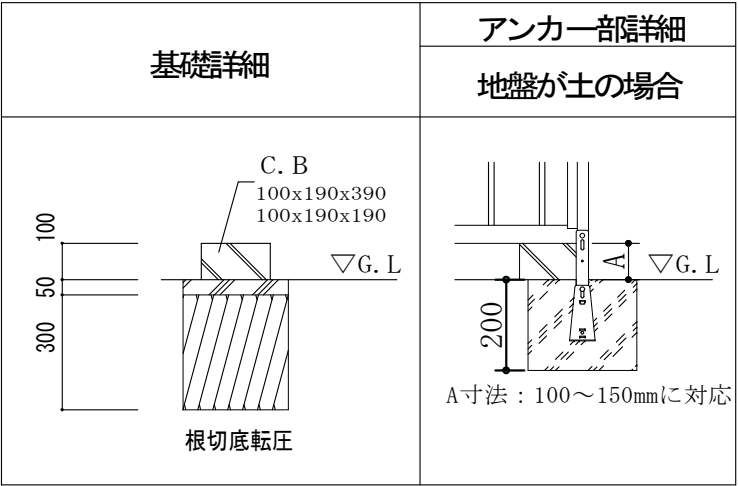
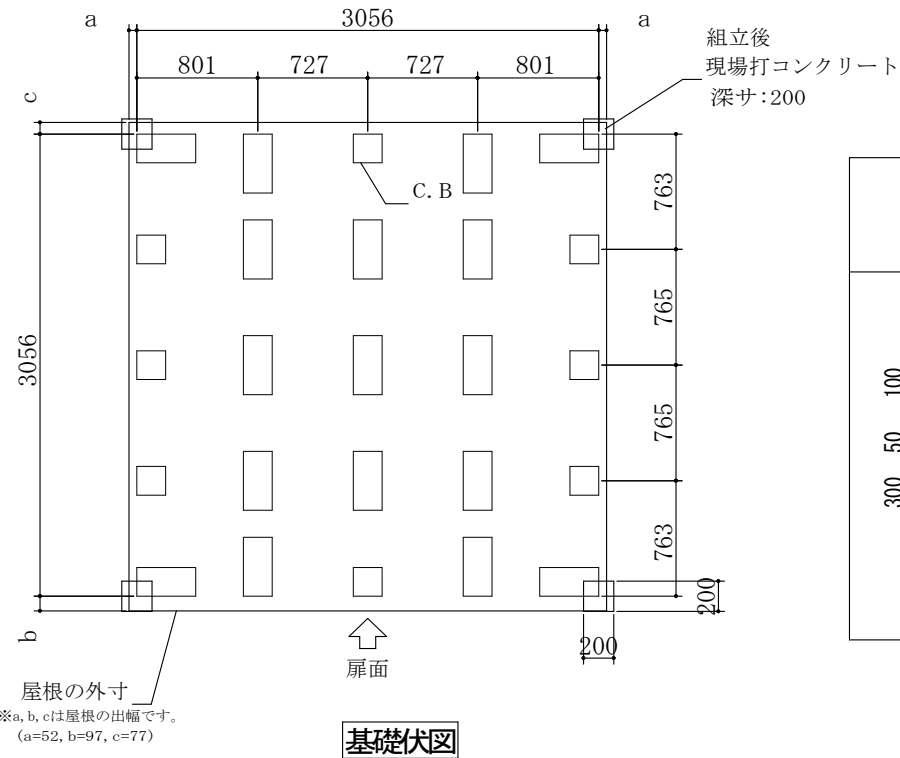
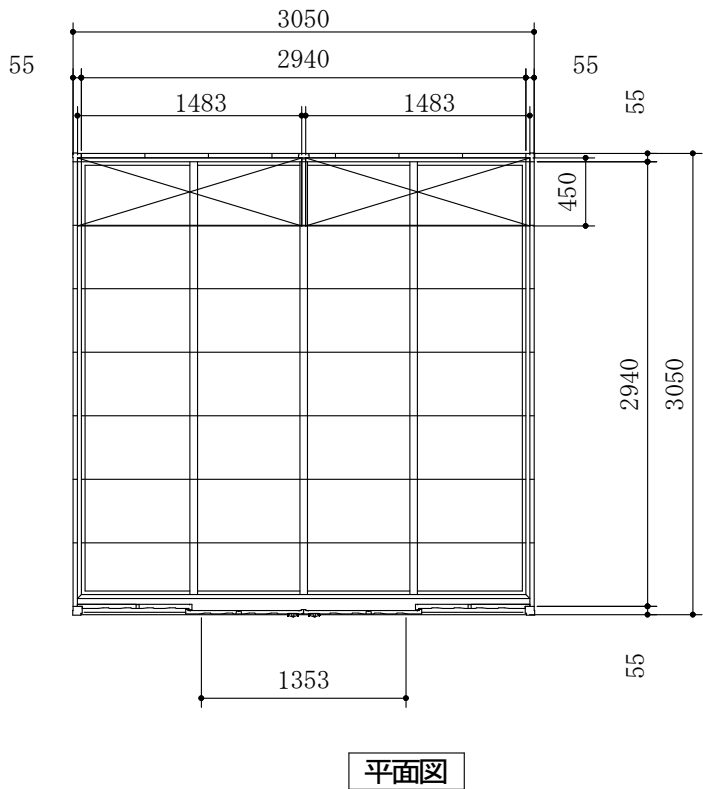


設計条件	LIXIL ハイグリットフェンスN8型、ハイグリットフェンス（門扉）NF8型 H1800 同等品		
設計荷重	昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。		
基礎条件	基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m ² （10t/m ² ）		
主要部材			
部 材	外径・厚さ（横線×縦線）	材 質	下地処理・塗装
本 体	H1800（芯径4.5φ～36φ）	JIS G 3547 SWM GH-2	2種亜鉛メッキ+ポリエチレン系流動浸漬塗装
	H1800（外径5.5φ4.6φ）		
支柱（スチール柱）	H1800 26×50×1.2 t	機械構造用角形鋼管	Z27+ポリエステル樹脂静電粉体塗装
取付金具（継手）	—	SUS304	—
取付金具（コーナー継手）	—	JIS G 3302 SGHC	Z27+ポリエステル樹脂静電粉体塗装
フックボルト	—	SUS304	—
継手取付ネジ	—	SUS304	—
コーナー継手取付ボルト	—	SWRM	亜鉛・ニッケル合金メッキ
小口キャップ	—	塩化ビニール	—



品番	部 品 名		材料 (材質)	板厚 (mm)
1	土台取付板		SGMH400 K27	2.3
2	土台		SGC400 F12	1.2
3	根太		SGCC F12	1.2
4	柱		SGC400 F12	1.2
5	床パネル		SGCC F12	1.0
6	鴨居		SZAC400 Y10	1.0
7	桁後		SZAC400 Y10	1.0
8	妻板左右		SZAC400 Y10	0.7
9	鼻隠シ前後		SZACC Y10	0.7
10	屋根パネル		SZAC400 Y10	0.5
11	母屋中 (3050mm)	一般型	SGC400 F12	1.2
		多雪型	SGH400 F12	2.3
		豪雪型		2.3+1.6
12	壁パネル		SGC400 F12	0.6 <0.7>
13	正面パネル		SGC400 F12	0.7
14	扉		SGCC F12	0.8
15	棚板		SECC E8	0.6
16	アンカープレート		SGHC F12	2.3
SGMH400 : 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)				
SGC400, SGCC, SGH400, SGHC : 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)				
SZAC400, SZACC : 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)				
SECC : 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)				

・ 〈 〉 内はH高さを示す。



※オールアンカーM10(市販品)が4本必要になります

イナバ物置 FS-3030SH
(多雪型)
FS-3030S・H

工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL 055-222-6644 FAX 055-222-6100 ht.tps://sekkei-y.com yao@uby.pl.al.a.or.jp	設計年月日	2025.08	図 面 名 称	物置詳細図	縮 尺	1 : 20	図 面 番 号	A-12
---------	-------------	--	-------	---------	---------	-------	-----	--------	---------	------

① 受水槽+基礎



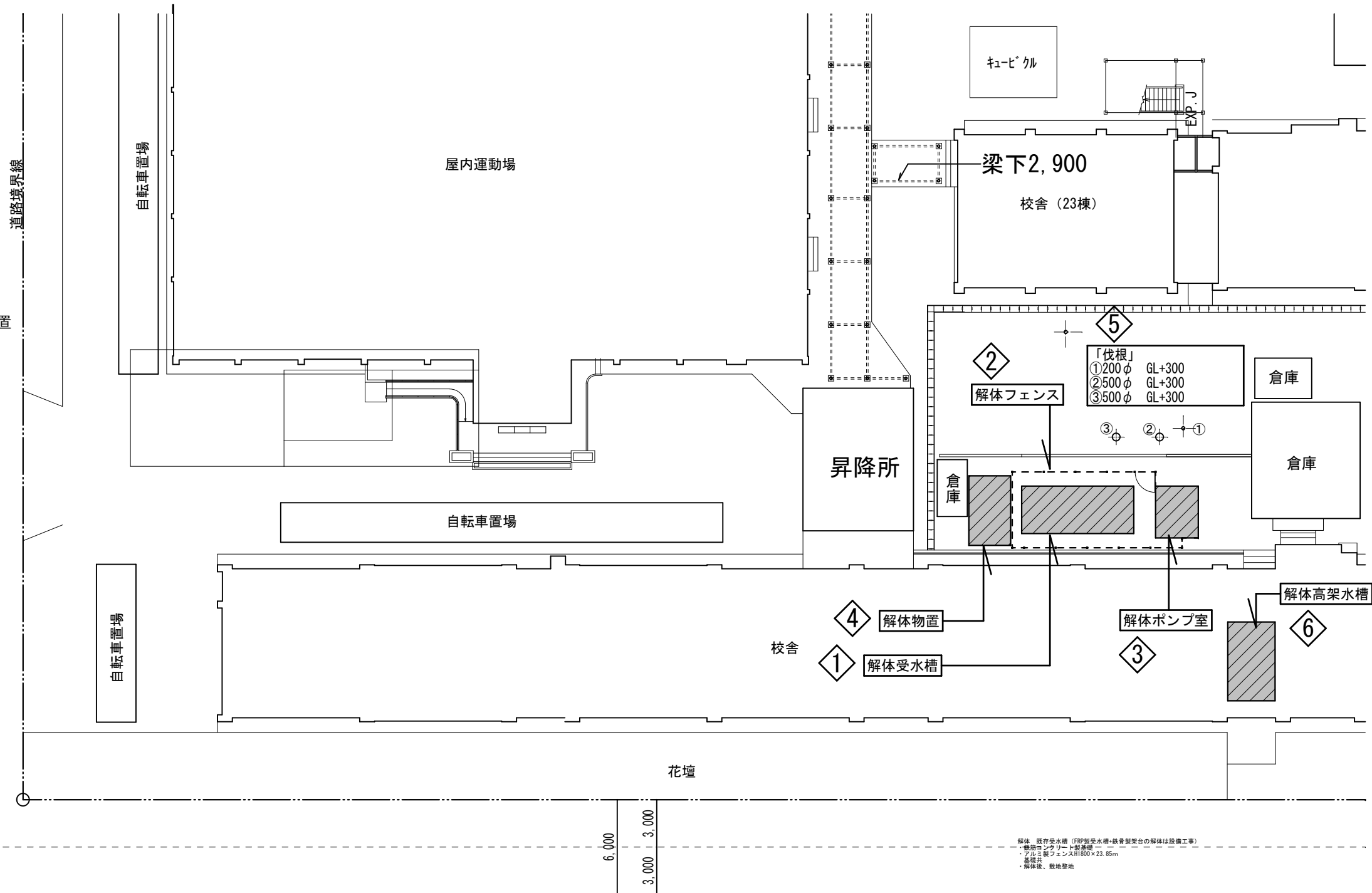
② アルミ製フェンス+基礎



③ ポンプ室



④ スチール製物置



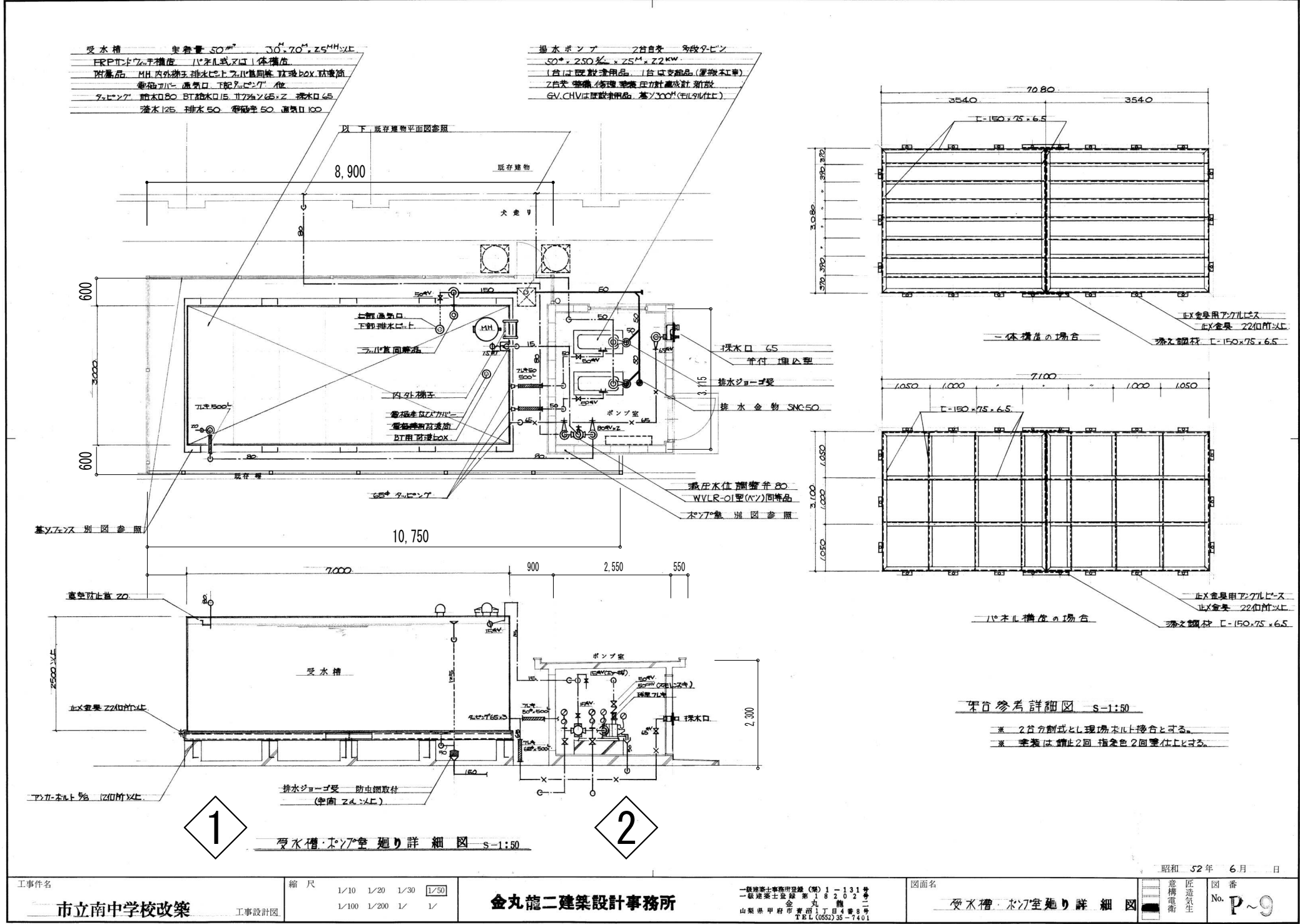
⑤ 伐根



⑥ 高架水槽



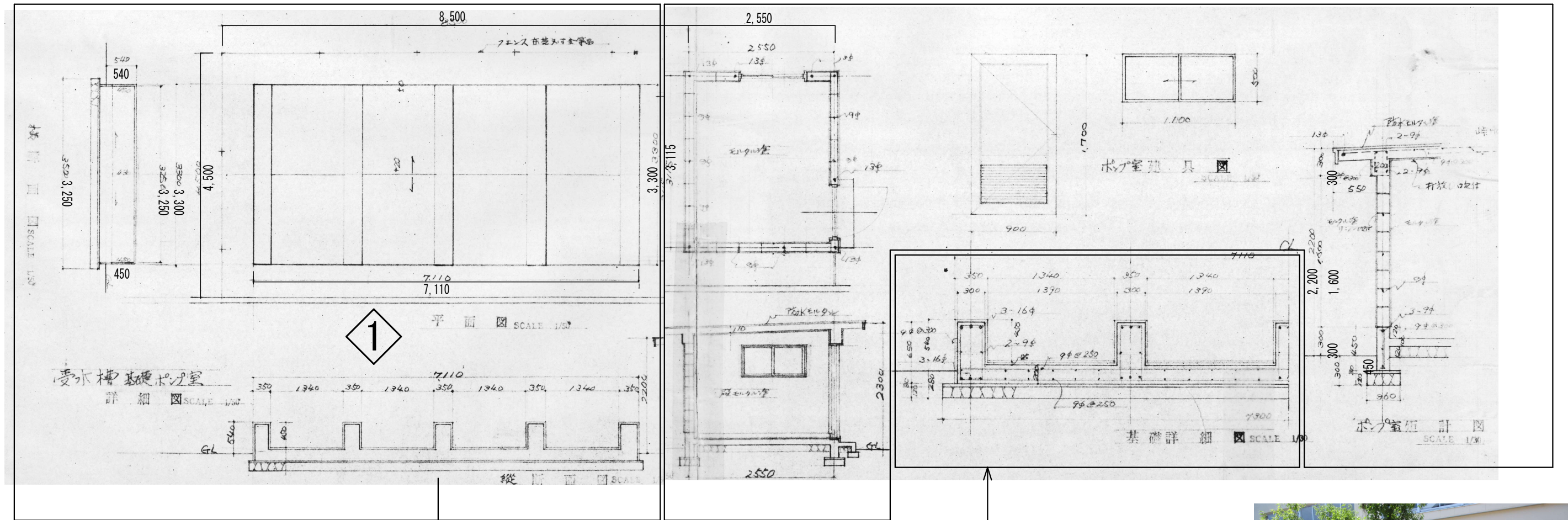
解体 凡例			
記 号	用 途	仕 様	数 量
①	受水槽+基礎	詳細は解体図 (1)、(2) 参照	1ヶ所
②	アルミ製フェンス	H1800 (GLより)	23.85m
	フェンス基礎	300角×H500	15ヶ所
③	ポンプ室	詳細は解体図 (1)、(2) 参照	1ヶ所
④	スチール製物置	スチール製 W4.43m×D2.63×H2.1	1ヶ所
⑤	伐根	図示参照	3ヶ所
⑥	高架水槽	W2.5×D2.0×H15配管共 (基礎は残す)	1ヶ所



既存受水槽平面図 S-NS

解体 既存受水槽 (FRP製受水槽+鉄骨製架台の解体は設備工事)
・鉄筋コンクリート製基礎
・アルミ製フェンスH1800×23.85m
基礎共
・解体後、敷地整地

工事名称	南中学校受水槽更新工事	設計年月日	2025.08	図面名称	解体図 (1) (既存受水槽・ポンプ室、周囲フェンス、伐根)	縮尺	-	図面番号	A-14
Yoshi no S Design Office 吉野 雄二 建築設計室		山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@luby.plala.or.jp		図面名 受水槽・ポンプ室廻り詳細図		図番 No. P-9			



2

既存受水槽図

S=NS

「解体②」

- ・アルミ製フェンスH1800×23.85m
- 基礎 300角×H0.5×15ヶ所 共
- ・解体後、敷地整地

3

既存ポンプ室図

S=NS

「解体③」

- ・既存ポンプ室 鉄筋コンクリート造
- W2.55×3.115×H2.65
- ・鉄筋コンクリート造基礎共
- ・解体後、敷地整地

4

既存物置

S=NS

「解体④」

- ・スチール製（既製品物置）
- W4.43m×D2.63×H2.1
- ・コンクリートブロック基礎共 15ヶ所
- ・解体後、敷地整地



工事名称

南中学校受水槽更新工事

Yoshino S Design Office
吉野総合建築設計室

山梨県 甲府市 徳行3-3-25
TEL 055-222-6644
FAX 055-222-6100
ht.https://sekkei-y.com
yao@uby.pl a l a .or .j p

設計年月日

2025.08

図面名称

解体図 (2)
(既存受水槽・ポンプ室、周囲フェンス)

縮尺

-

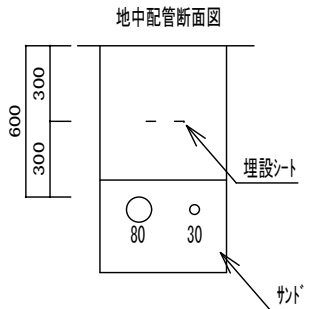
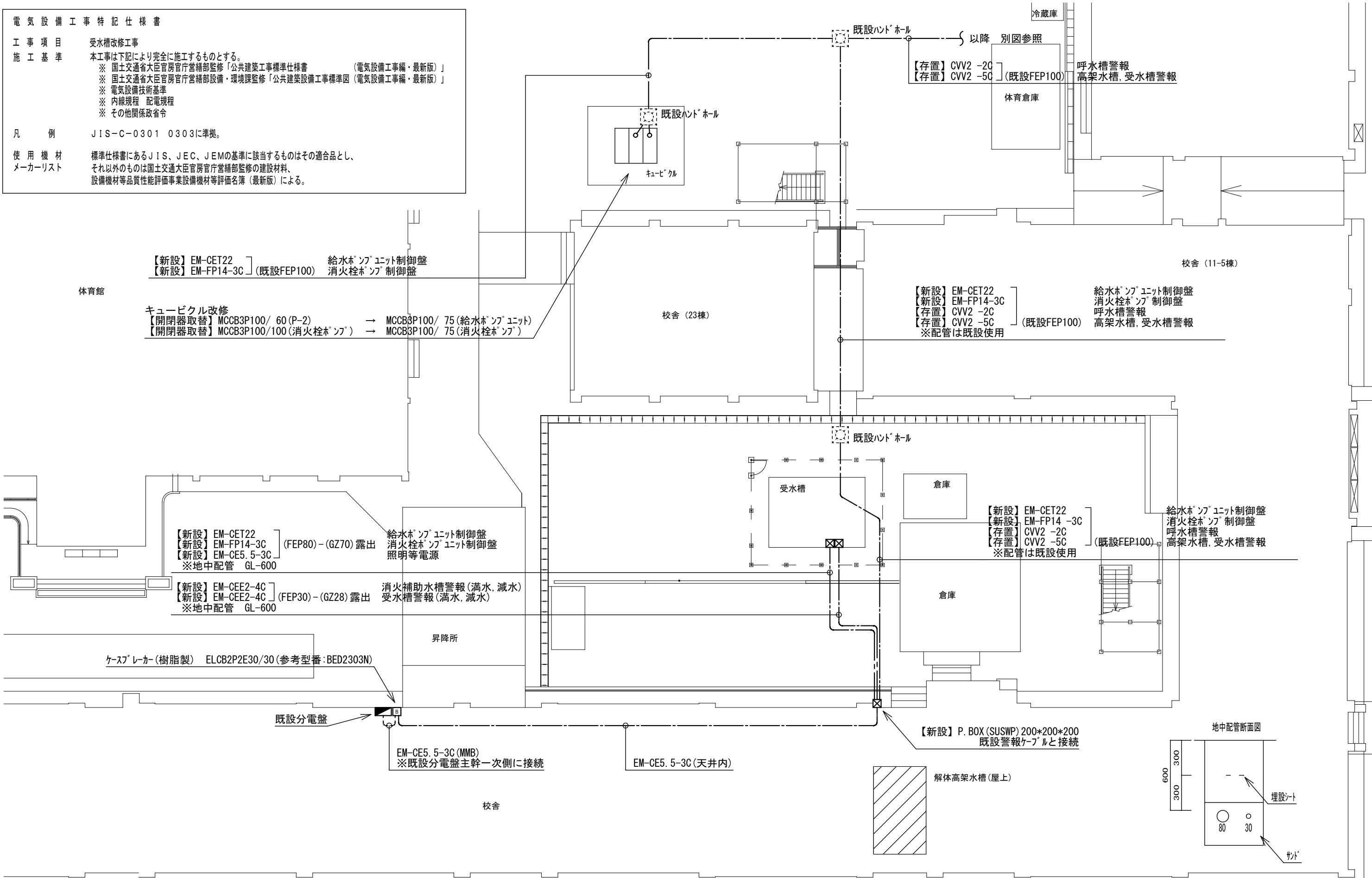
図面番号

A-15

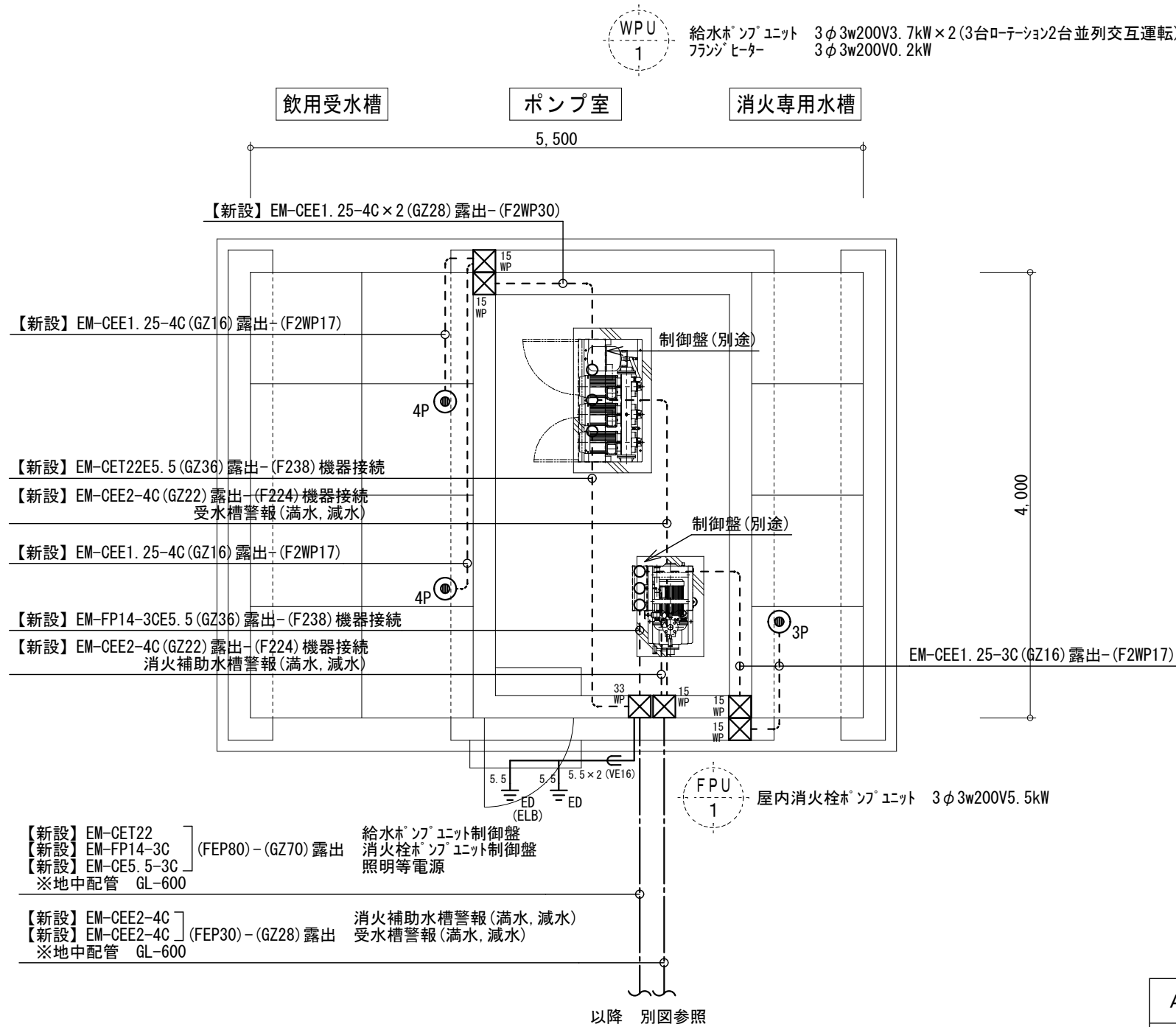


工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshi no S Design Office 吉野聡建築設計室 山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@uby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図 面 名 称 解体図 (3) (既存高架水槽)	縮 尺 -	図 面 番 号 A-16
---------	-------------	---	------------------	-----------------------------	----------	-----------------

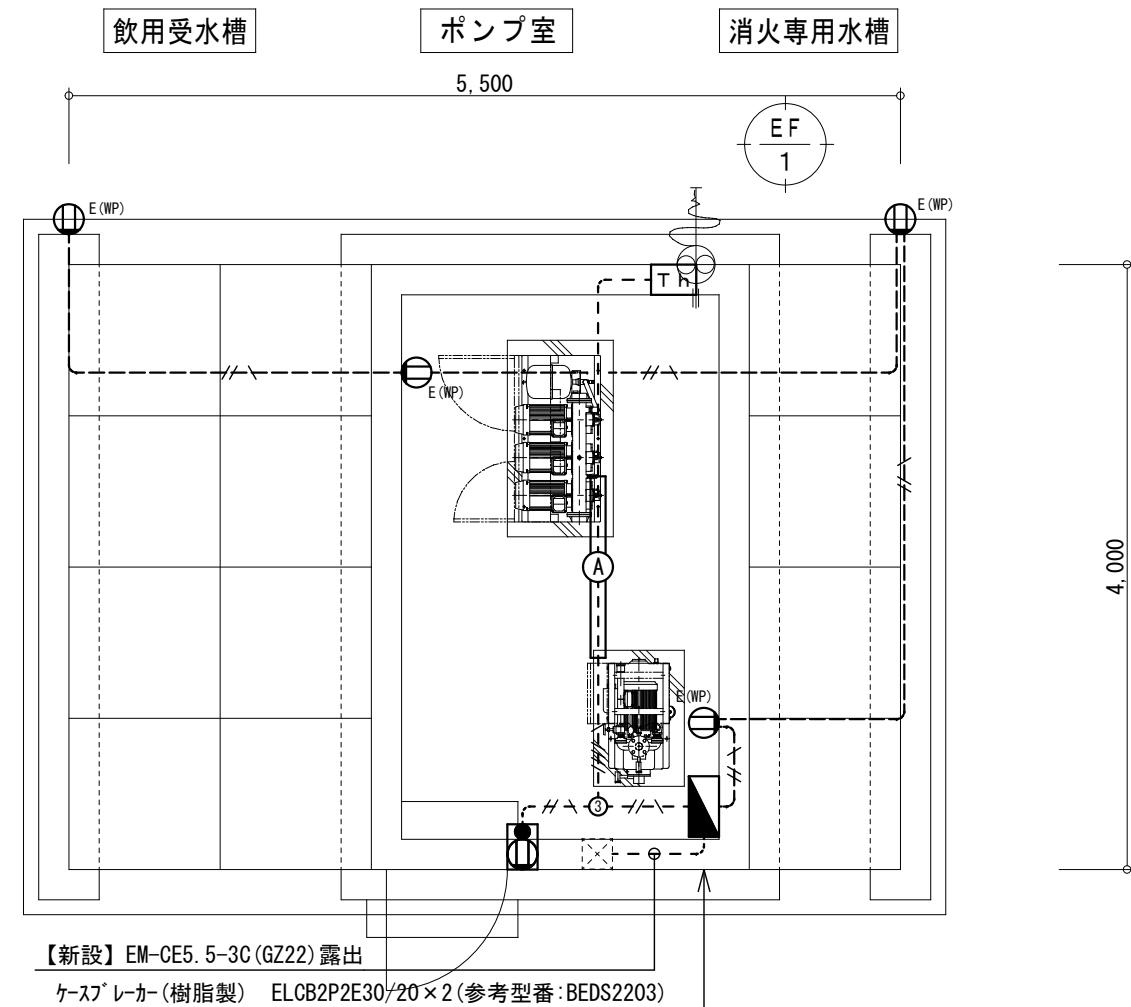
電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書	
工 事 項 目	受水槽改修工事
施 工 基 準	本工事は下記により完全に施工するものとする。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編・最新版）」 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編・最新版）」 ※ 電気設備技術基準 ※ 内線規程 配電規程 ※ その他関係政省令
凡 例	JIS-C-0301 0303に準拠。
使 用 機 材 メーカーリスト	標準仕様書にあるJIS、JEC、JEMの基準に該当するものはその適合品とし、 それ以外のは国土交通大臣官房官庁営繕部監修の建設材料、 設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）による。



工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025. 08	図 面 名 称 特記仕様・幹線設備平面図 (新設)	縮 尺 1 : 200	図 面 番 号 E-1
---------	-------------	-------------------------------------	--	-------------------	------------------------------	----------------	----------------



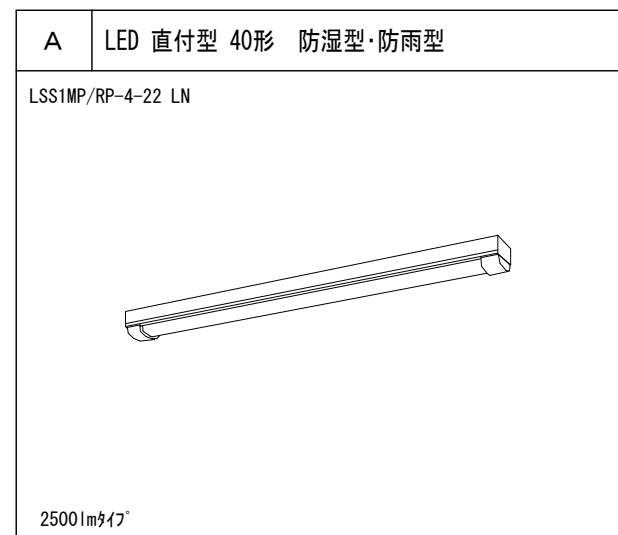
受水槽ポンプ室動力設備平面図 S=1/50

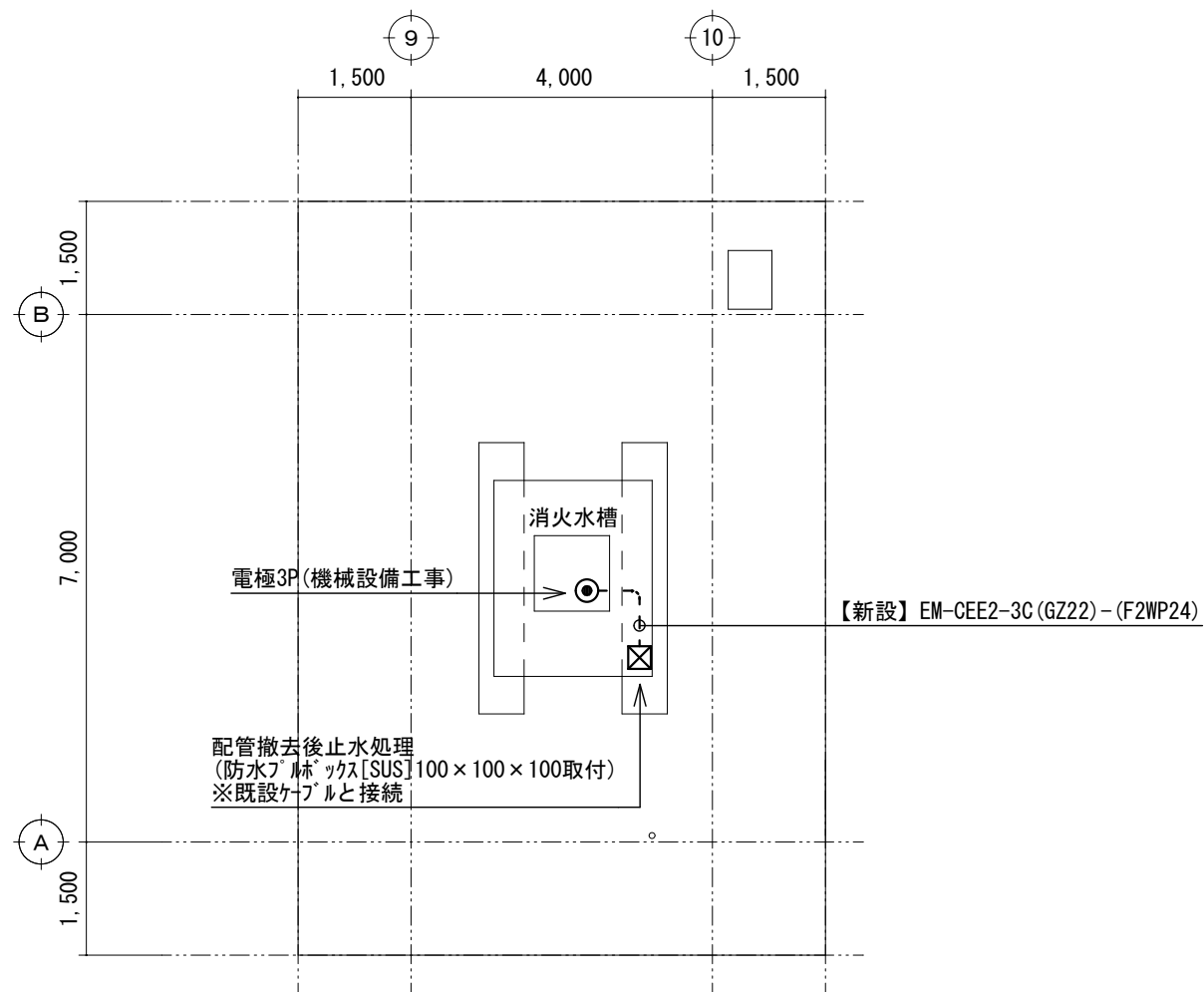


受水槽ポンプ室電灯コンセント平面図 S=1/50

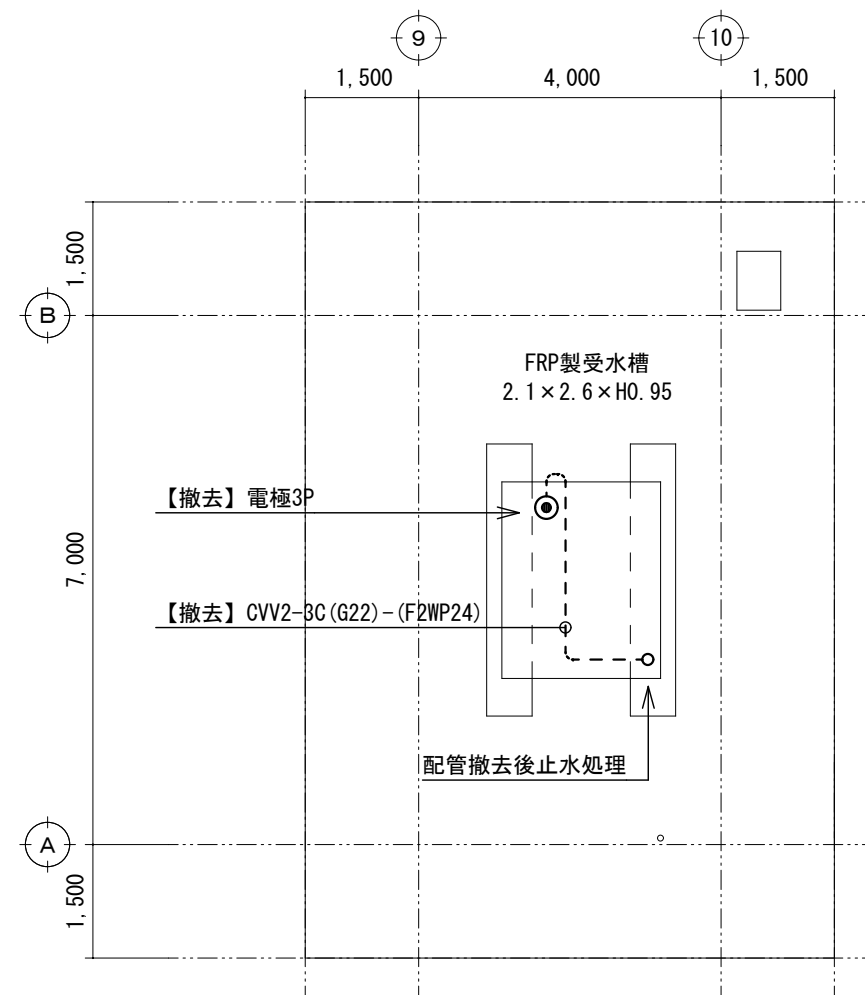
凡 例

	埋込スイッチ 1P15A×1 埋込コンセント 2P15A×1 接地極付 露出スイッチボックス(E25-1方出)使用
	防水コンセント 2P15A×2ET 接地極付 アウトレットボックス 中浅カバー付
	温度スイッチ(5℃～40℃)コンセント付 露出スイッチボックス(E25-1方出)使用
	照明器具 図示 露出丸ボックス(E25-2方出)
	電極 3極 (電極棒共)
	電極 3極 (電極棒共)
	露出丸ボックス
	防水フタボックス(SUS)
	IE2.0×2 (E25) 露出
	IE2.0×2E2.0(E25) 露出
	IE2.0×4E2.0(E25) 露出
	IE2.0×2E2.0(PF16) 隠蔽



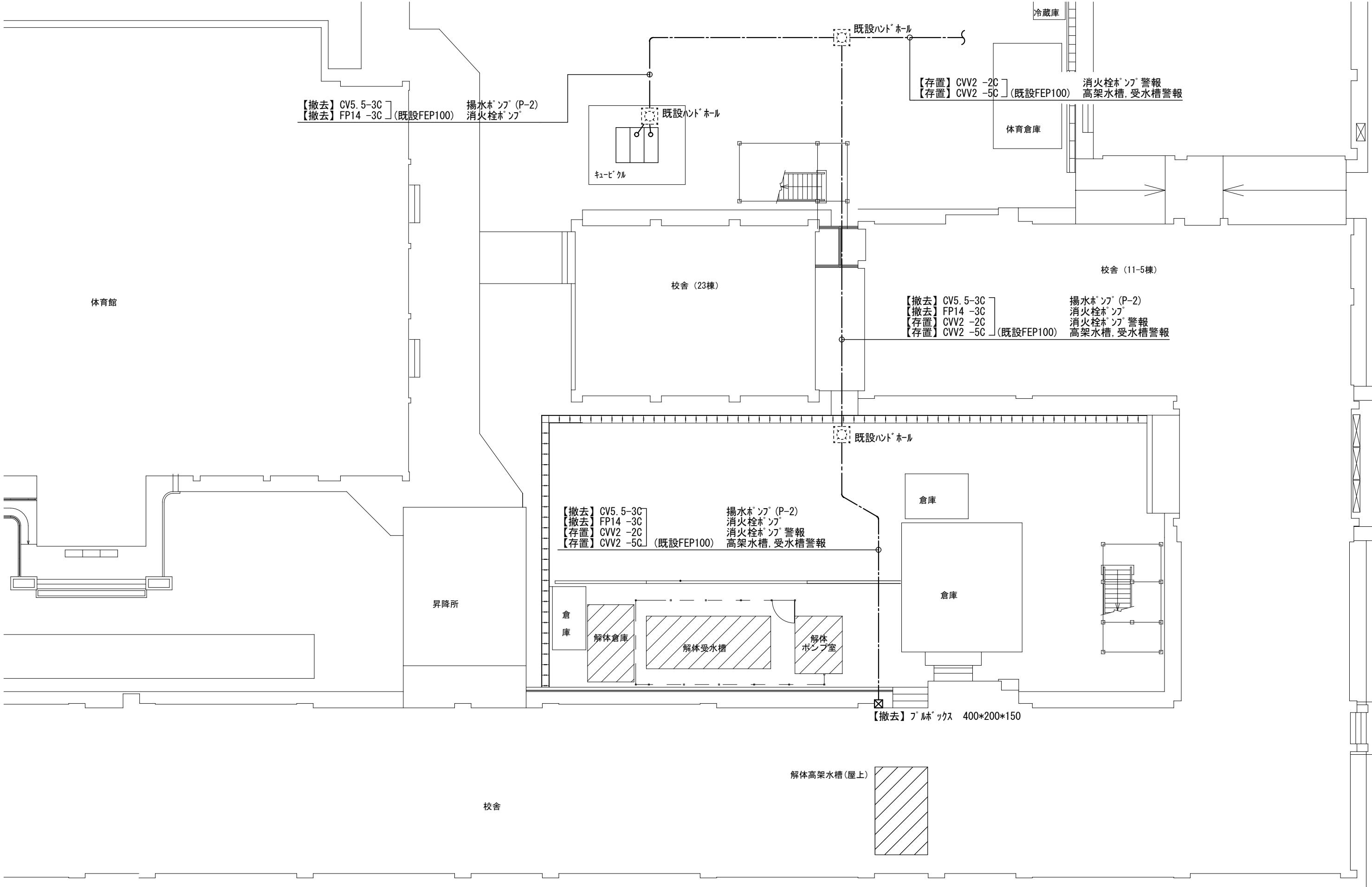


屋上平面図(新設) S=1:100

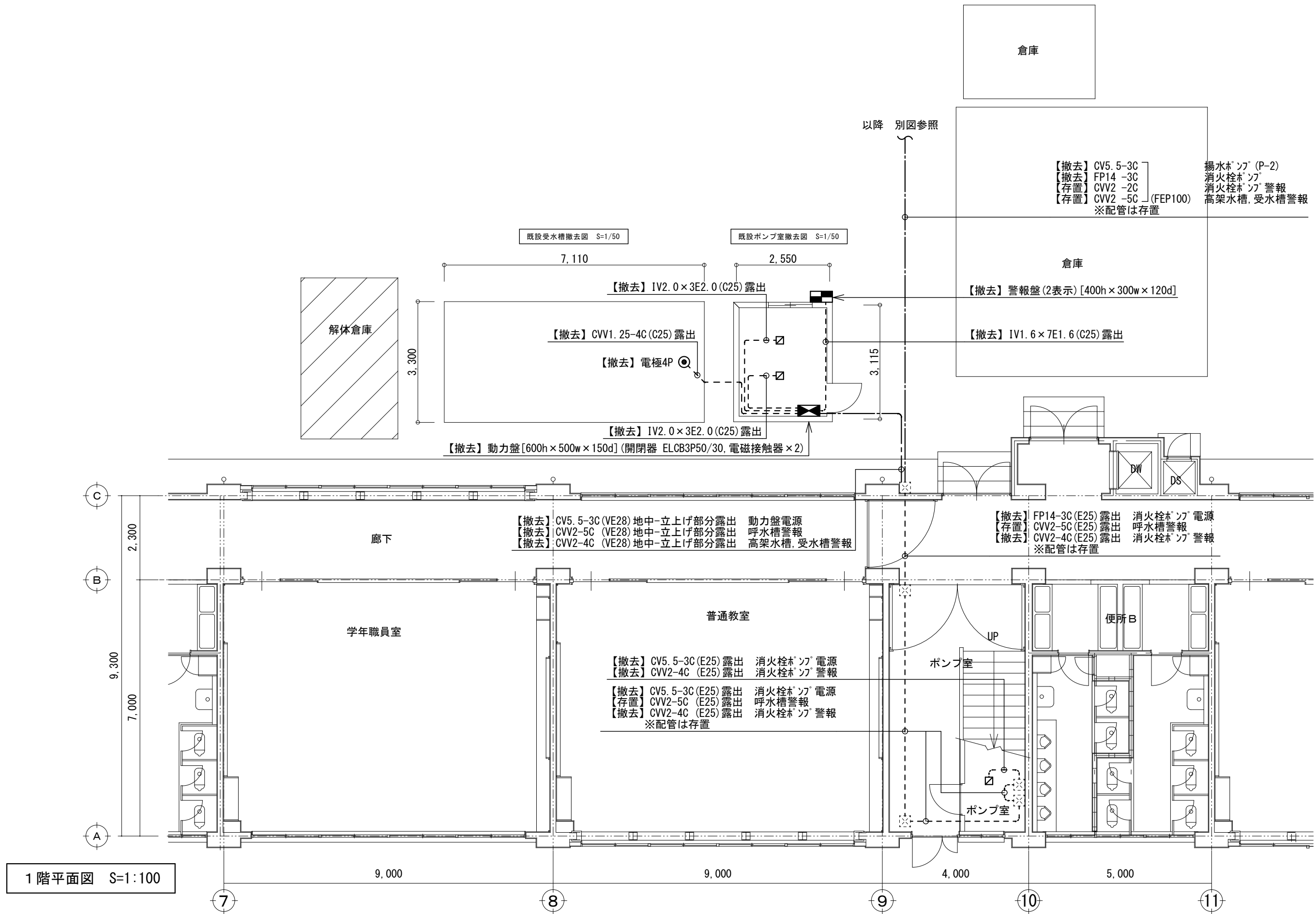


屋上平面図(撤去参考) S=1:100

工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025. 08	図 面 名 称 幹線設備屋上平面図	縮 尺 1 : 100	図 面 番 号 E-3
---------	-------------	-------------------------------------	--	-------------------	----------------------	----------------	----------------



<div>工事名称</div> <div>南中学校受水槽更新工事</div>	<div>Yoshino・S Desing Office</div> <div>吉野聡建築設計室</div> <div>山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp</div>	<div>設計年月日</div> <div>2025. 08</div>	<div>図面名称</div> <div>幹線設備平面図(撤去参考) 1</div>	<div>縮尺</div> <div>1 : 200</div>	<div>図面番号</div> <div>E-4</div>
--	--	--------------------------------------	--	----------------------------------	--------------------------------



工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 幹線設備平面図(撤去参考)2	縮尺 1:100	図面番号 E-5
------	-------------	-------------------------------------	--	------------------	------------------------	-------------	-------------

図 面 リ ス ト		
N o	名 称	縮 尺 (A 3)
M－0 1	図 面 リ ス ト	N o. S
M－0 2	特 記 仕 様 書 (1)	N o. S
M－0 3	特 記 仕 様 書 (2)	N o. S
M－0 4	主 要 機 器 表	N o. S
M－0 5	案 内 図 ・ 配 置 図	1／1000
M－0 6	給 水 ・ 消 火 設 備 系 統 図	N o. S
M－0 7	受 水 槽 ・ ポ ン プ 室 配 管 平 面 図 (改 修 後)	1／50
M－0 8	受 水 槽 廻 り 平 面 図 ・ 消 火 栓 ポ ン プ 室 平 面 図 (改 修 前) 、 撤 去 機 器 表	1／50
M－0 9	受 水 槽 廻 り 配 管 平 面 図	1／100
M－1 0	1 階 平 面 図	1／300
M－1 1	2 階 平 面 図	1／300
M－1 2	3 階 平 面 図	1／300
M－1 3	R 階 平 面 図	1／300
M－1 4	高 架 水 槽 廻 り 平 面 図 (改 修 前 後)	1／50
M－1 5	受 水 槽 ＋ ポ ン プ 室 平 面 図 (参 考 図)	1／30
M－1 6	受 水 槽 ＋ ポ ン プ 室 立 面 図 (参 考 図)	1／30
M－1 7	受 水 槽 ＋ ポ ン プ 室 平 架 台 ・ 基 礎 平 面 図 (参 考 図)	1／30
M－1 8	柵 類 詳 細 図 、 屋 外 配 管 埋 設 断 面 図	N o. S

工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図 面 名 称 図 面 リ ス ト	縮 尺 No. S	図 面 番 号 M-01
---------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	----------------------	--------------	-----------------

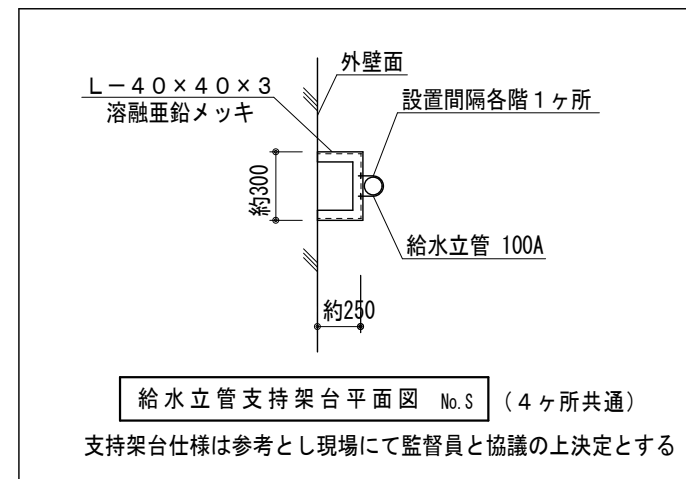
特 記 仕 様 書（１）							
工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事				6. 撤去 工事		
工 事 場 所	甲府市 湯田二丁目2 1 番2 4 号				加圧給水ポンプ新設に伴う既存揚水ポンプ・消火栓ポンプユニット及び給水・消火配管の撤去を行う。		
工 事 範 囲	設計図書及び工事契約書による。				既設受水槽（基礎共）・高架水槽・フェンス等の撤去（建築工事）を行う。		
一 般 事 項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び標準仕様書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）・同標準図最新版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。			メーカー指定	主要機器材料は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修設備機材等評価名簿（最新版）による。		
	2. 本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、係員と協議の上誠実に施工するものとする。 但し、その費用は受注者の負担とする。				尚メーカーリスト及び承諾図を提出し、監督員の承諾を得ること。		
	3. 本設計図は工事概要を示すものであるから、受注者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち工程表、施工計画書、材料承諾願図、施工図等を提出し係員の承諾を得ること。			特 記 事 項	① この工事は甲府市が指定する「週休2日制適用工事」である。		
	4. 本工事に於いて、契約後速やかコリンズ登録を行うこと。またCREDAS（最新版）を用いての再資源利用計画・実施書の提出を行うこと。				② 週休2日の考え方は以下のとおりである。		
	5. 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただし、その費用は受注者の負担とする。				1) 「通期の週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。		
	6. 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。				2) 「月単位の週休2日」とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。		
	7. 本工事請負者は工事完成引き渡し後でも施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。				3) 「完全週休2日（土日）」とは、対象期間の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1 週間に2 日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。		
	8. 工事写真・施工図・竣工図等は、電子納品とする。（但し、完成図書の写真はダイジェスト版を添付のこと。）				4) 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間は含まない。		
	9. 学校の運営に影響が出ないよう、現場における施工期間は学校側と十分に調整を図ること。				5) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。		
工 事 項 目	1. 受水槽＋ポンプ室工事	4. 消 火 設備工事			6) 「通期の4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。		
	2. 給 水 設備工事	5. 換 気 設備工事			7) 「月単位の4週8休以上」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。		
	3. 排 水 設備工事	6. 撤 去 工事			③受注者は、月単位の週休2日を標準として実施し、さらに、質の向上を図る完全週休2日（土日）に取り組むことができる。また、対象期間中、以下のことを実施しなければならない。		
優 先 順 位	1. 法令・政令・規則等の定め及び指導				1) 通期又は月単位の現場閉所日は、原則として土曜日及び日曜日の2日間とする。但し、受注者の意向により、別の日に定めることもできる。		
	2. 質疑回答書				2) 完全週休2日（土日）において、土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。ただし、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。災害対応等で土日に代わる代替日の設定が困難であり、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定する。		
	3. 特記仕様書				なお、やむを得ず平日に現場閉所し、土日に施工が必要な場合があることから、1 週間の定義は「月曜日から日曜日まで」を基本とする。また、夜間工事は曜日を跨ぐため、週7回の夜間のうち、土曜日から日曜日へ跨ぐ夜間、日曜日から月曜日へ跨ぐ夜間で現場閉所を行っていれば完全週休2日（土日）を達成しているとみなす。		
	4. 設計図書				3) 週休2日制現場閉所（計画・実績）書に現場閉所日を示し、発注者に提出すること。		
	5. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 『公共建築工事標準仕様書』（機械設備工事編） 最新版				4) 作業状況や天候等で現場閉所日を変更する場合は、振替休日等を設定し、あらかじめ監督員に連絡すること。		
	6. 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 『公共建築工事設備標準図』（機械設備工事編） 最新版				5) 現場閉所後、速やかに「週休2日制適用工事」の取組実績について、週休2日制現場閉所実績集計表を発注者に提出し、確認を受けるものとする。		
工 事 概 要	1. 受水槽＋ポンプ室工事				6) 完成検査時に、発注者から週休2日制現場閉所（計画・実績）書、週休2日制現場閉所実績集計表の提示を求められた場合は、速やかに提示しなければならない。		
	図示の位置へステンレス製パネル溶接型受水槽（飲用、消火用2 槽）＋ポンプ室を設置する。				7) 現場で就労する技術者及び作業員の労働環境に配慮しなければならない。		
	コンクリート基礎及び鉄骨架台の設置も行う。				8) 週休2日制適用工事と記した掲示をし、周辺住民へ周知をすること。（A3 版程度、様式任意）		
	2. 給 水 設備工事				④ 災害、その他事情により完全週休2日が継続できないときは、監督員と協議により取り止めることができる。		
	敷地内既存水量器7 5 φ下流側の直結給水管より分岐し、新設飲用水槽及び消火専用水槽へ接続する。				⑤ 本工事は、月単位の4週8休以上（28.5%（8日/28日）以上）を前提に補正係数1.02により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成していることから、発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、完全週休2日（土日）を達成した場合は、現場管理費の補正係数を1.01に変更し、請負代金額のうち、現場管理費補正分を増額変更することができる。また、月単位の4週8休に満たない場合は、補正係数を除し、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更すること。		
	以降新設ポンプ室内へ加圧給水ポンプを設置し校舎内へ水を供給する。 加圧ポンプ給水管は既存高架水槽部分まで新規配管し、高架水槽出水管部分にて接続替えを行う。						
	既存高架水槽は撤去し、新たに消火用補助水槽を設置する。						
	3. 排 水 設備工事						
	受水槽＋ポンプ室の排水を側溝へ放流する。						
	4. 消 火 設備工事						
	新設ポンプ室内へ屋内消火栓ポンプユニットを設置する。 ポンプから消火管を新設し校舎外部地中部分にて既存消火管に接続替えを行う。						
	5. 換 気 設備工事						
	新設ポンプ室内へ換気扇を設置する。						


工 事 名 称	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	2025.08	特 記 仕 様 書（１）	No. S	M-02

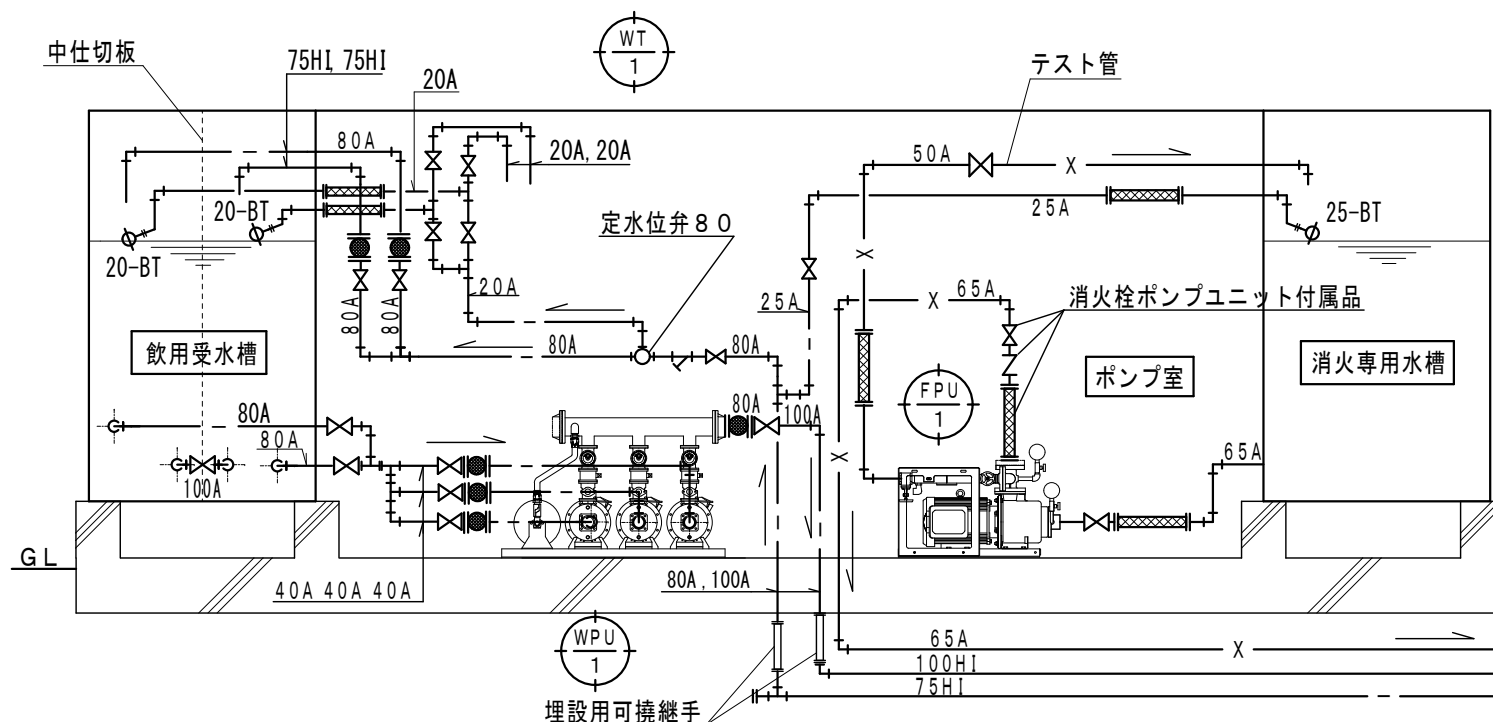
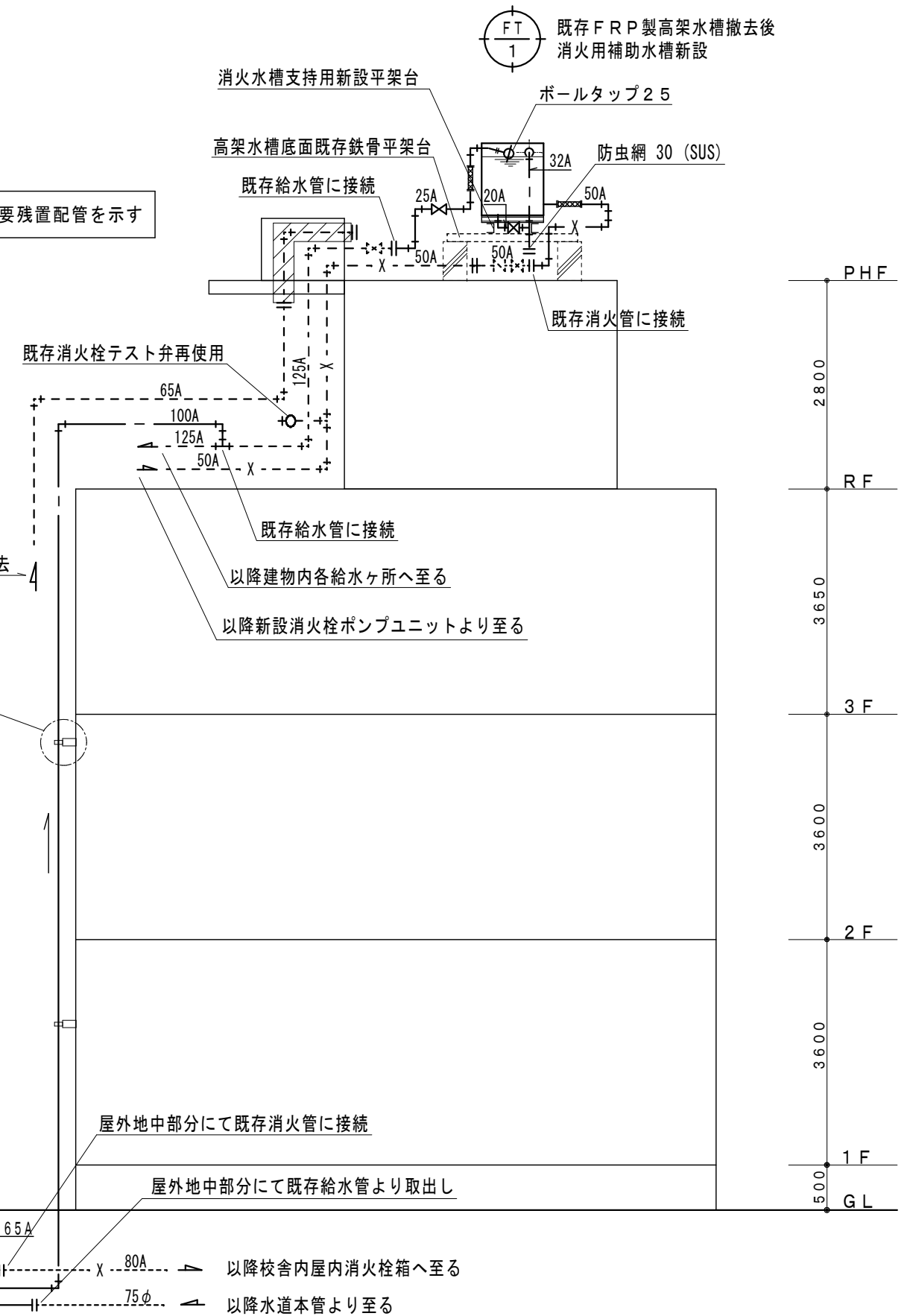
特 記 仕 様 書（２）									
特 記 事 項	１．暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除	保温塗装防食仕様	○ 給水・消火管 屋外露出部 ポリスチレンフォーム保温筒（２０mm厚）＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム						
	１）請負者は、工事の施工に当り、暴力団からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、		＋ステンレス鋼板（ヒーター線巻付け部分はグラスウール保温筒使用）						
	所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。		ポンプ室内 ポリスチレンフォーム保温筒（２０mm厚）＋粘着テープ+アルミガラスクロス						
	２）この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。		（ヒーター線巻付部分はグラスウール保温筒使用）						
	３）請負者が（１）の報告等を怠った場合は、「甲府市建設工事等請負契約に係る指名停止等措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うこととする。		コンクリート内 防食テープ（１／２重ネ）２回巻 但しＨＩ管は除く						
	２．下請施工体系図の作成及び提出		土間埋設部 ワンタッチ保温筒１０t（ワンタッチチューブ）						
	「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の	メーカーリスト	配管、継手類	ＪＩＳ及びＪＷＷＡ規格メーカー					
	如何にかかわらず、末端の下請業者まで反映させた「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤診が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく		受水槽＋ポンプ室	森松工業 ベルテクノ					
	監督員へ提出するものとする。		給 水 ポ ン プ	荏原製作所 テラル 川本製作所					
	また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、延滞なく監督員へ提出するものとする。		屋 内 消 火 栓 ポ ン プ	荏原製作所 テラル 川本製作所					
	尚、提出は打合せ簿によるものとする。 但し、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。		消 火 用 補 助 水 槽	柳川鉄工所 下田エコテック ホーコス					
	技能士の活用を積極的に図ること。下請負届に技能士の指名・資格証明を添付すること。		弁 類	キッツ 東洋バルブ 日邦バルブ					
	３．建設機械は低騒音型かつ排ガス対策型建設機械を使用すること。		塩ビ柵	アロン化成 前沢化成工業 セキスイ					
	４．「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき「甲府市グリーン購入法調達方針」により定め		排水金物類	伊藤鉄工 長谷川鑄工所					
	られた次の資材については同法の判断基準を満たすものの採用に努め、建設機械については原則使用とする。		換 気 扇	三菱電機 パナソニック ダイキン工業					
	また、採用が困難な場合は理由書を添付して報告すること。		上 記 及 び それ 以 外 の も の に つ い て は 、 メ ー カ ー リ ス ト 及 び 承 諾 図 を 提 出 し 、 監 督 員 の 承 諾 を 得 る こ と 。						
	５．請負者は、工事期間中近隣住民に迷惑を掛けてはならない。 また、重車両等使用による道路の破損、公害防止条例による違反、	凡 例	給 水 管	—— — — — — ^{HI}	耐衝撃性硬質塩ビ管 ＪＩＳ－Ｋ－６７４２（ＨＩＶＰ） 屋外地中部分（４０φ以下）				
	及び火災の原因になるような事項に対しては、事前に対策を講じること。		給 水 管	—— — — — — ^{RR}	耐衝撃性硬質塩ビ管 ＪＷＷＡ－Ｋ－１２９（ＨＩＲＲ） 屋外地中部分（５０φ以上）				
	６．敷地内外の工作物等には十分注意すること。 万一破損した場合は、請負者の負担で現状復旧すること。		給 水 管	—— — — — — ^A	内外面塩ビライニング鋼管 ＪＷＷＡ－Ｋ－１１６（ＶＤ） 屋内地中部分				
	７．工事施工に必要な官公庁その他への手続きは、請負者の負担において遅滞なく行うこと。		給 水 管	—— — — — — ^A	内面塩ビライニング鋼管 ＪＷＷＡ－Ｋ－１１６（ＶＢ） 地中以外の部分				
	８．仮設物を設置する時は、管理者と協議の上、学校利用者に支障ない安全な場所に設置すること。		排 水 管	—— — — — — ^{VP}	硬質ポリ塩化ビニル管 ＪＩＳ－Ｋ－６７４１（ＶＰ）				
	９．仮設に使用する電気・水道等の料金については、請負者の負担とする。		消 火 管	—— — — — — X — — — — ^A	外面塩ビライニング鋼管 WSP－０４１ SGP－VS 地中部分				
	１０．製作又は施工上必要な図面（施工図・製作図等）は、請負者において作成し承諾を受けること。		消 火 管	—— — — — — X — — — — ^A	配管用炭素鋼鋼管 ＪＩＳ－Ｇ－３４５２（白） 地中以外の部分				
	１１．工事に進捗につれて隠れる部分及び監督員の指示する場所については、その都度工事の進捗状況をカラー写真で撮影すること。		仕切弁	⋈	青銅製ねじ込み形仕切弁（ＪＩＳ１０k品） 管端コア付 ５０φ以上 給水管用				
	１２．工事完成後、完成図書を請負者の負担で作成し、速やかに提出すること。		仕切弁	⋈	鑄鉄製フランジ形仕切弁（ＪＩＳ１０k品 ナイロンコーティング製） ６５φ以上 給水管用				
	１３．給水設備工事・消火設備工事は、各所轄機関と協議の上、申請書類等を作成の上検査を受けること。								
	１４．工事完成前に使用する洗浄水・テスト用水等の水道料金は請負者の負担とする。	提 出 書 類	材料承諾願図・施工計画書・施工図・完成写真類・その他監督員の指示するもの。						
	１５．給水管の異種管の接続は、絶縁を設けること。								
	１６．工事着手、施工時に際しては、別途工事と調整を図り学校側の運営に影響が出ないように施工を行うこと。								
	１７．校庭の利用に関しては、養生を行い、原状復旧を行う。								
	１８．既設受水槽の撤去に際しては、粉塵等の飛散防止を行い、地域住民等に迷惑がかからないよう努める。								
	１９．水槽・ポンプの設置に際し、アンカーボルトを基礎鉄筋に結束させること。								
	２０．建物が未警戒となる期間については、市が支給する消火器を各消火栓前に設置すること。								

主 要 機 器 表											
記 号	名 称	仕 様				電 源		設 置 場 所	数		
						相	電 圧			容量 (参考値)	
W T - 1	受水槽+ポンプ室	形 式	ステンレス製パネルタンク（溶接組立）ポンプ室併設型						屋 外	1	
			溶融亜鉛メッキ（メーカー仕様）架台、外タラップ共 水槽、ポンプ室、架台の詳細は別紙参照								
		耐 震	水平震度1.5G								
		寸 法	飲用水槽 4×2×2.5H 呼称20m3 保温付仕様								
			消火水槽 4×1×2.5H 呼称10m3 保温付仕様								
			ポンプ室 4×2.5×2.5H								
		付属品	MH（二重）×2、内外ハシゴ×2、通気口×2								
			電極座及びカバー×2、防波筒×2								
		その他	緊急給水口（吐水口回転型横水栓 F-7-13）設置								
W P U - 1	給水ポンプユニット	形 式	インバーターによる吐出圧力一定制御				3	200	(3.7×2) Kw	ポンプ室	1
		能 力	50φ×80φ×580L／min×36m								
		運転方式	3台ローテーション2台並列交互運転								
		制御方式	周波数制御による推定末端圧力一定制御								
		制御盤	漏電ブレーカー、電流計、周波数計								
			インバーター、マイクロコンピュータ								
			運転表示、故障表示、手動自動切替え、1-交-2切替								
			外部一括警報用無電圧接点、リアクトル								
			液面リレー（ポンプ制御用4P） ノイズフィルター、アレスター付								
		付属品	フランジヒーター（ポンプメーカー標準品）								
F P U - 1	屋内消火栓 ポンプユニット	形 式	流れ込み運転仕様ユニット型 2P 省スペースタイプ				3	200	5.5Kw	ポンプ室	1
		能 力	50φ×300L／min×66m								
		制御盤	始動リレー内蔵 屋上及び地上消火水槽満減水警報回路付								
		付属品	吐出短管、GV、CV、FJ、テスト管 他								
F T - 1	消火用補助水槽	形 式	鋼板製 板厚3.2mm							屋 上	1
		仕 様	容量200L 平架台共 水平震度1.5G								
		その他	TF-200 詳細は標準図（機械設備工事編）参照 水槽保温施工のこと（外装材ステンレス鋼板）								
			ステンレス製も可とする								
E F - 1	換 気 扇	形 式	壁面設置型 電気式 スタンダードタイプ				1	100	14.5w	ポンプ室	1
		能 力	200φ×558m3/h								
		付属品	ステンレス製ウェザーカバー（防鳥網付）								
<div>○ 水槽部パネルタンクは工場溶接可とする。</div> <div>○ ポンプ室内外給水・消火管には自己制御型凍結防止ヒーターを直線設置する。</div>											

点線表示の配管、弁類等は既存を示す

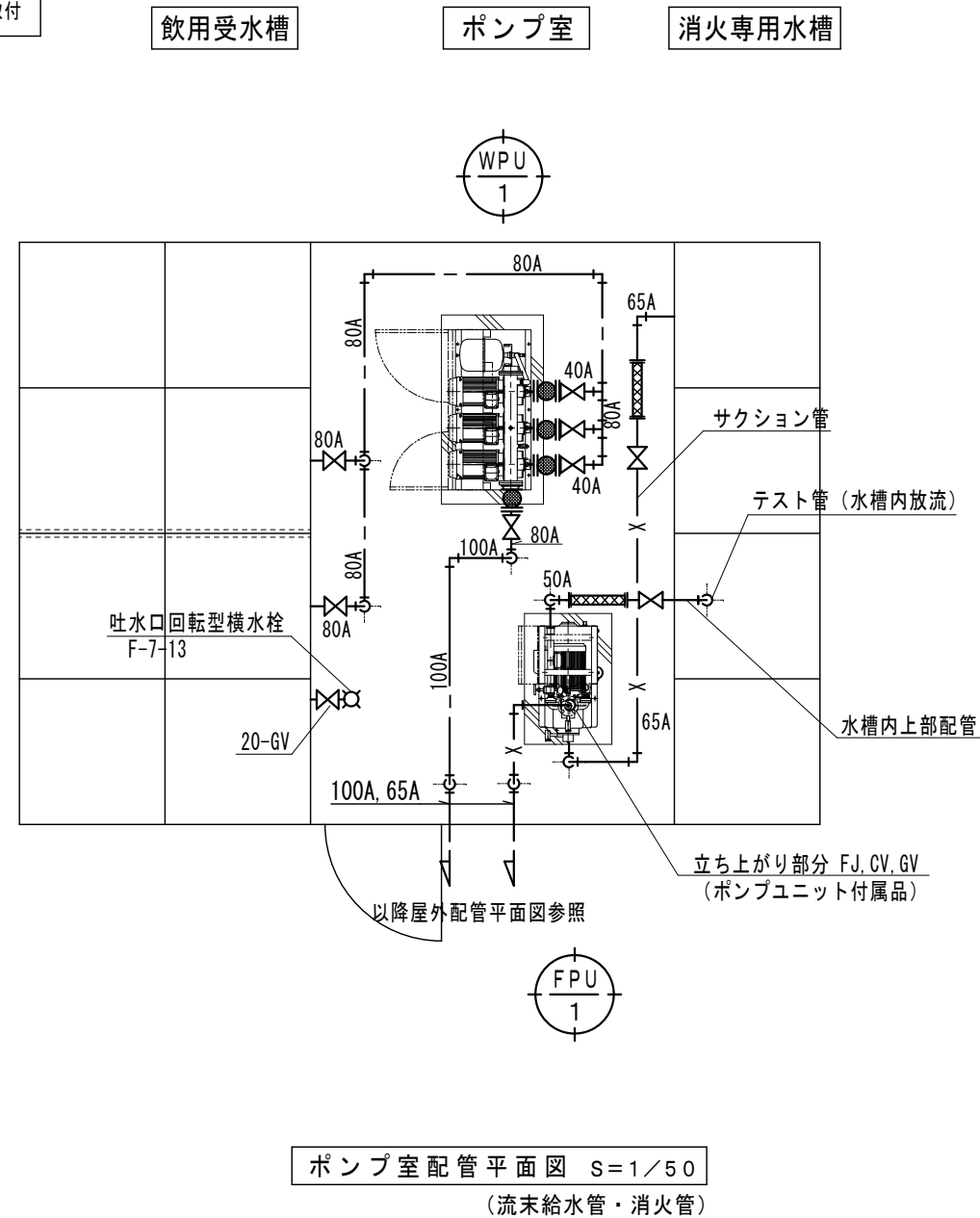
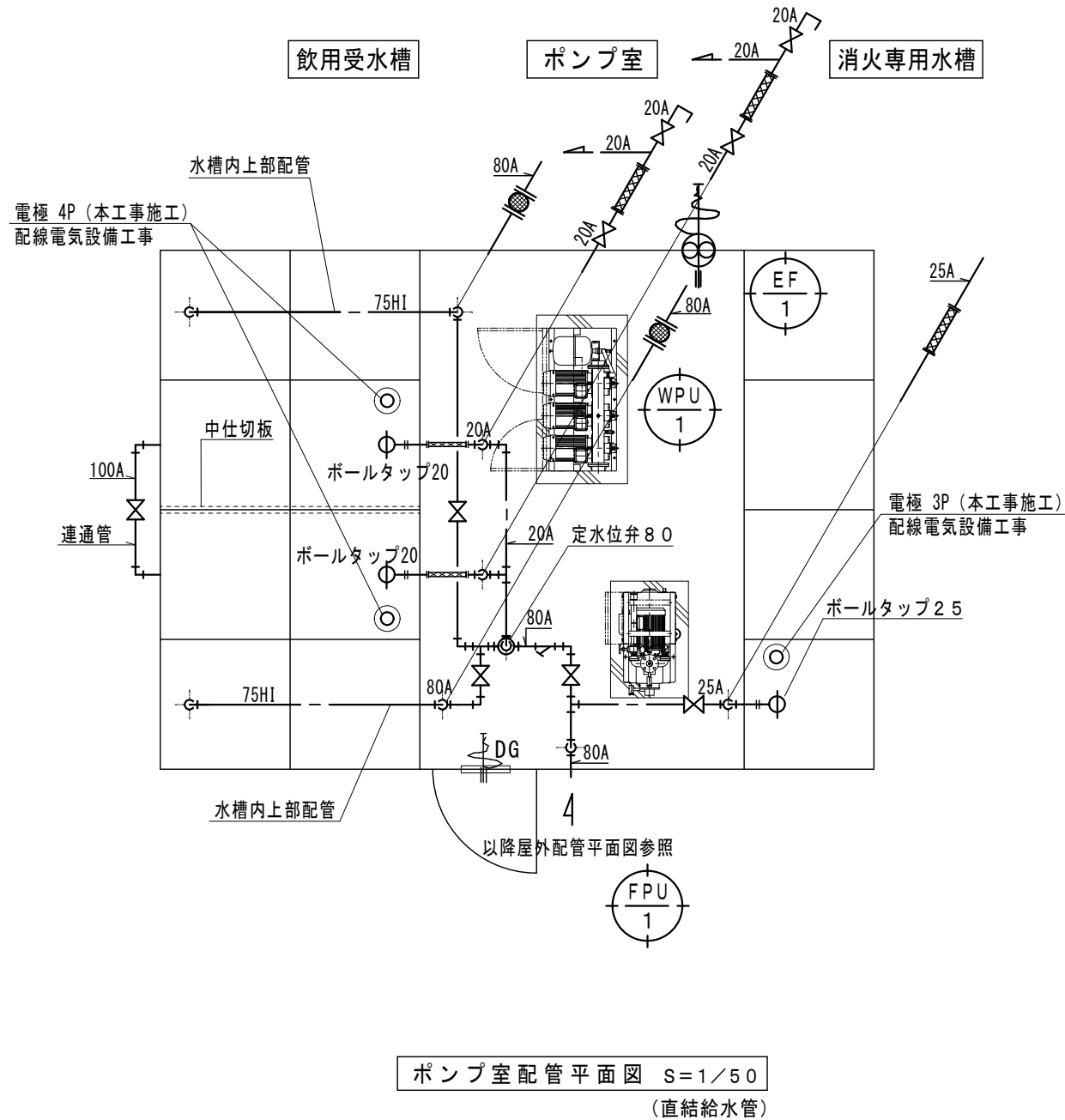


 不要残置配管を示す



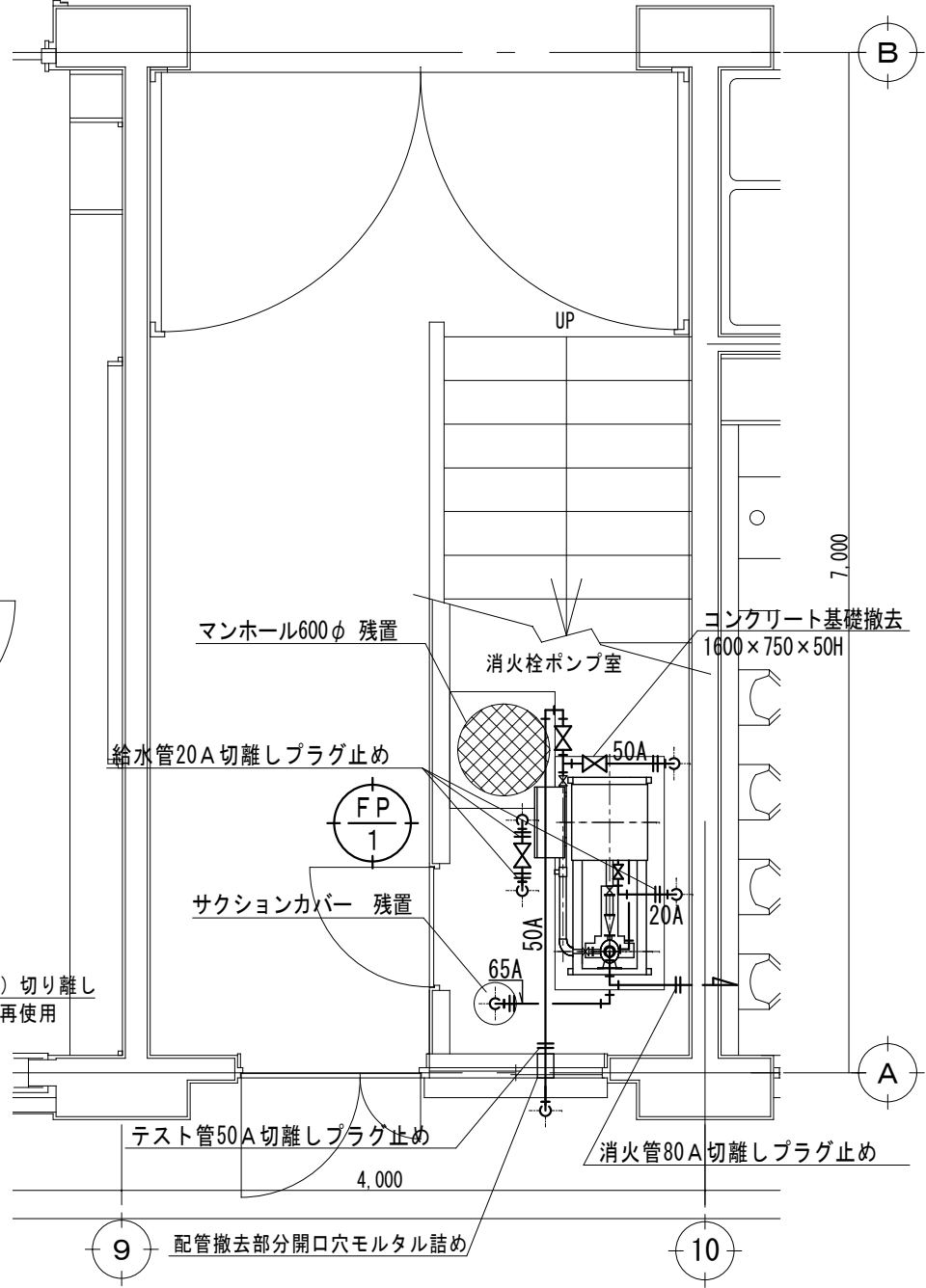
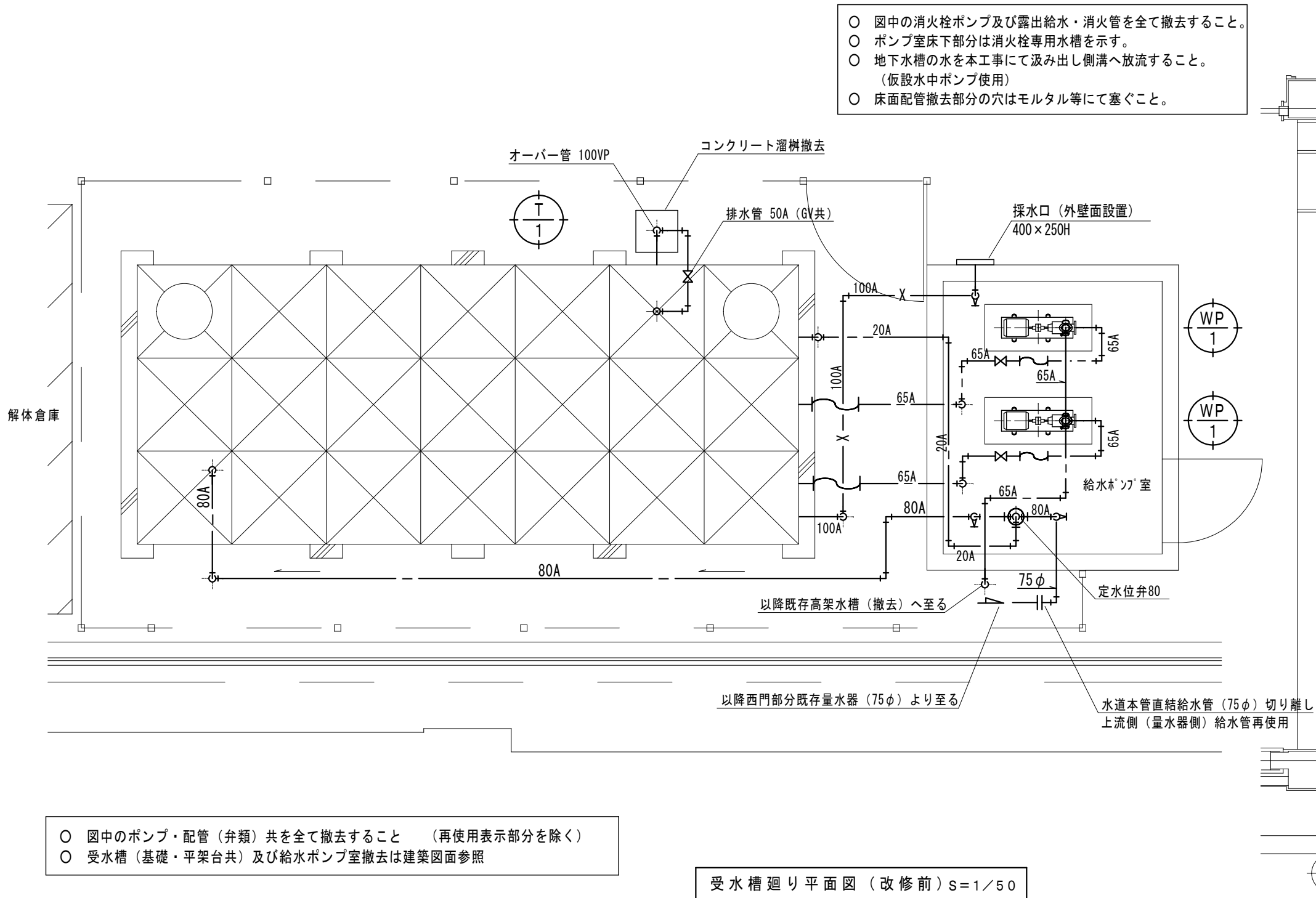
工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@rubv.njala.or.jp	設計年月日 2025.08	図 面 名 称 給 水 ・ 消 火 設 備 系 統 図	縮 尺 No. S	図 面 番 号 M-06
---------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	--------------------------------	--------------	-----------------

フレキ継手仕様	
給水管 40φ以上	球型ゴム製一山
給水管 25φ以下	SUS製 300 L
消火管	SUS製 500 L
水槽（飲用、消火用共）排水管は給水設備工事 水槽（飲用、消火用共）オーバー管は排水設備工事	
ポンプ室内外露出給水・消火管に自己制御型凍結防止 ヒーター巻付け（1φ、100V）専用サーモ取付	



工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 受水槽・ポンプ室配管平面図（改修後）	縮尺 1：50	図面番号 M-07
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	----------------------------	------------	--------------

撤 去 機 器 表					
No	名 称	仕 様	設置場所	数	備 考
T-1	受水槽	FRP製保温型 パネル組立式 受水槽：7×3×2.5H 鉄骨平架台共撤去	屋 外	1	受水槽＋平架台及びコンクリート基礎撤去は建築工事
T-2	高架水槽	FRP製保温型 一体成形 2.5×2×1.5H 基礎・平架台残置	屋 上	1	高架水槽撤去は建築工事
WP-1	揚水ポンプ	65φ×50φ×400L/min×28m×3.7Kw（3φ、200v）	屋外ポンプ室	2	
FP-1	屋外消火栓ポンプユニット	65φ×50φ×450L/min×67.5m×11Kw（3φ、200v） 呼水槽付 コンクリート基礎撤去	消火栓ポンプ室	1	

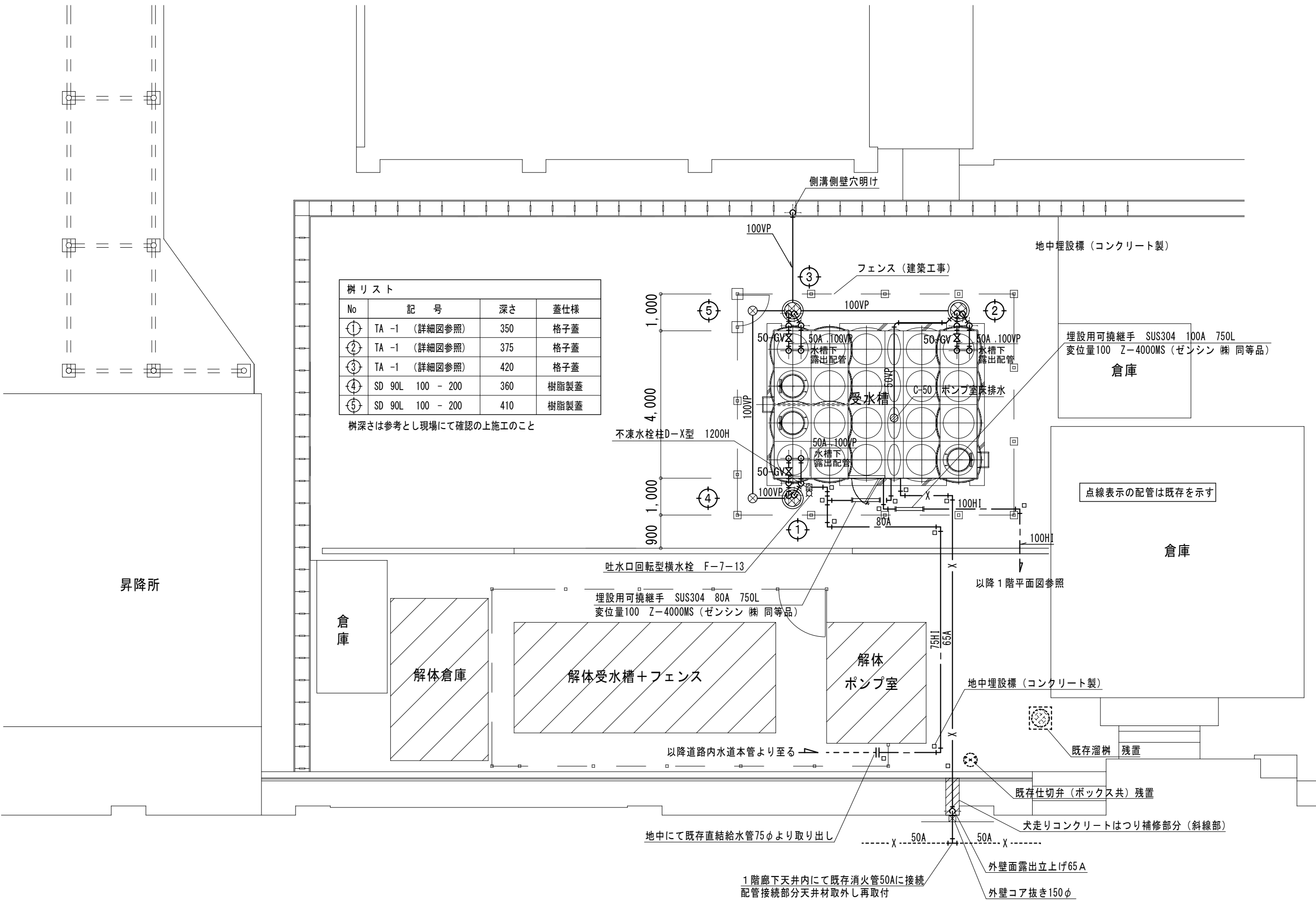


- 図中のポンプ・配管（弁類）共を全て撤去すること（再使用表示部分を除く）
○ 受水槽（基礎・平架台共）及び給水ポンプ室撤去は建築図面参照

受水槽廻り平面図（改修前）S=1/50

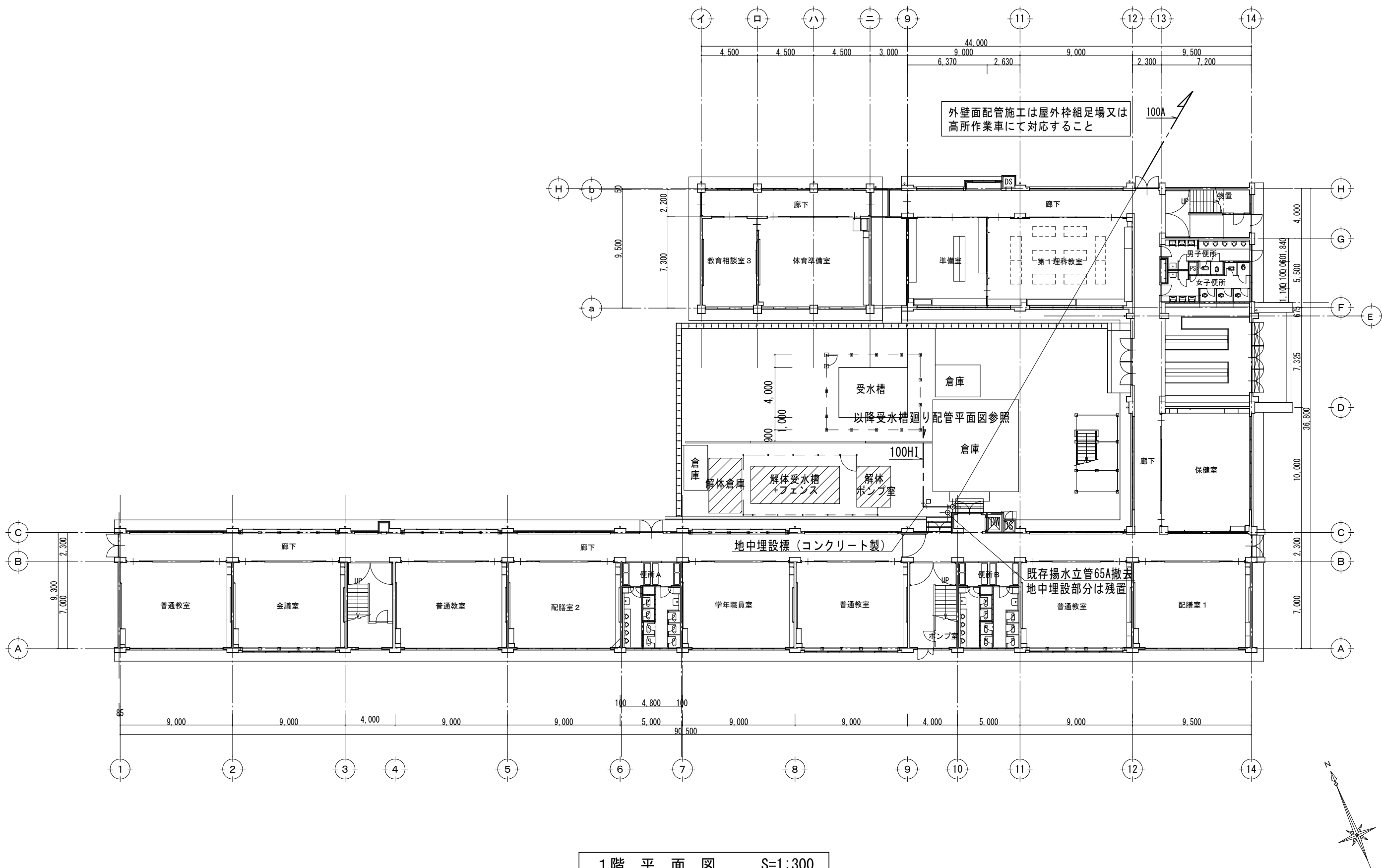
消火栓ポンプ室平面図（改修前）S=1/50

工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 受水槽廻り平面図・消火栓ポンプ室平面図（改修前）、撤去機器表	縮尺 1：50	図面番号 M-08
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	--	------------	--------------

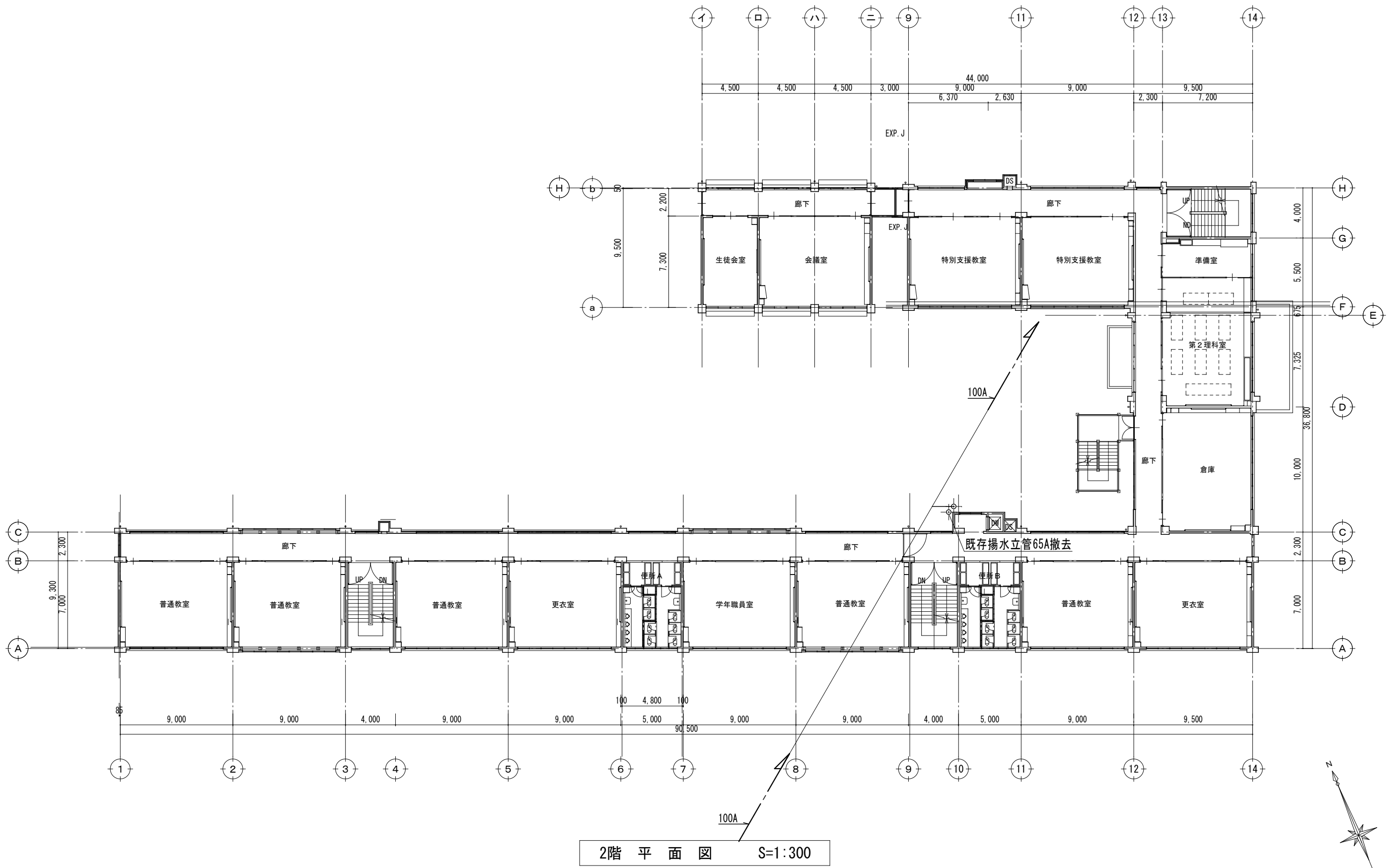


樹リスト			
No	記 号	深さ	蓋仕様
①	TA -1 (詳細図参照)	350	格子蓋
②	TA -1 (詳細図参照)	375	格子蓋
③	TA -1 (詳細図参照)	420	格子蓋
④	SD 90L 100 - 200	360	樹脂製蓋
⑤	SD 90L 100 - 200	410	樹脂製蓋

樹深さは参考とし現場にて確認の上施工のこと

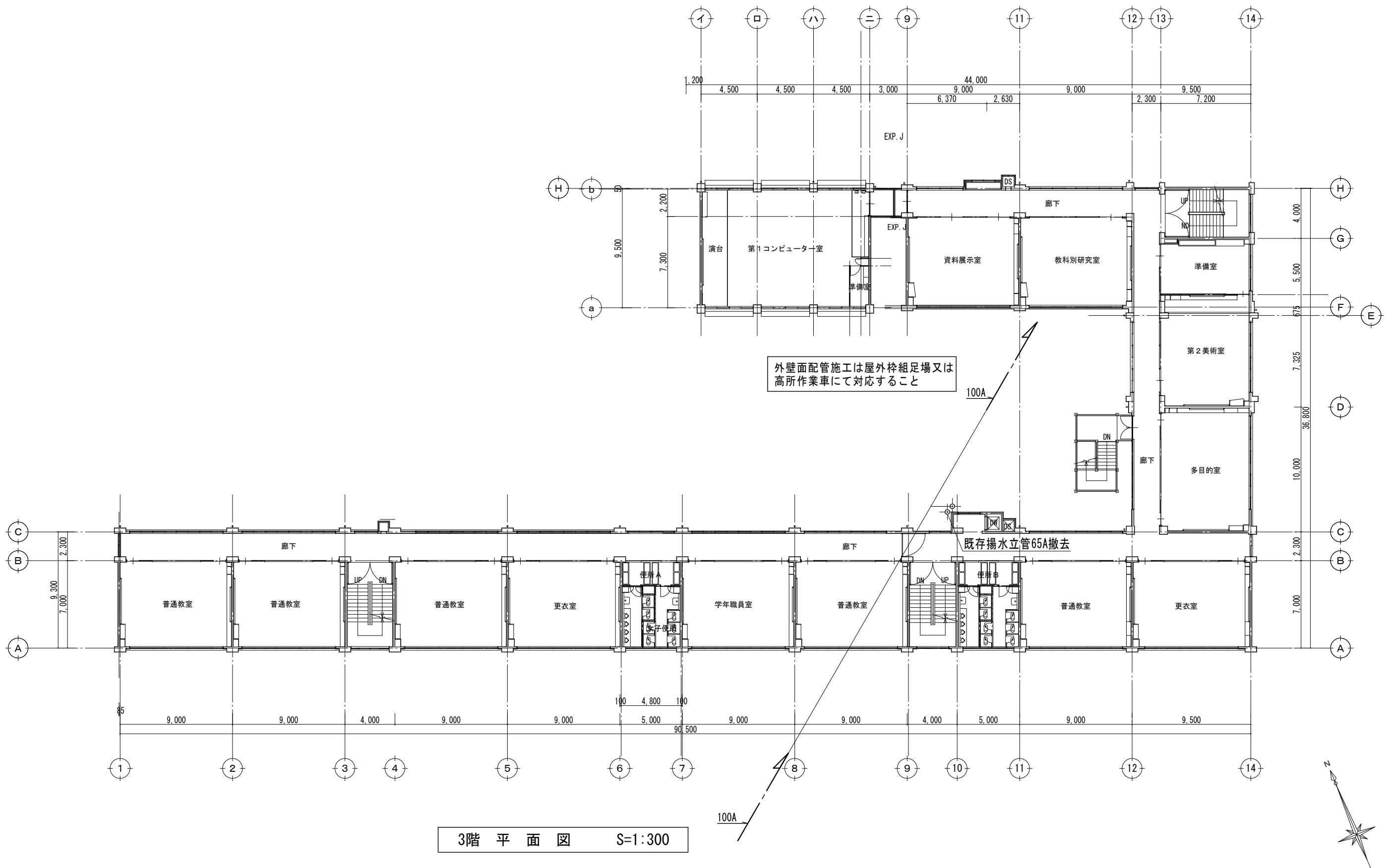


工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 1階平面図	縮尺 1:300	図面番号 M-10
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------	-------------	--------------

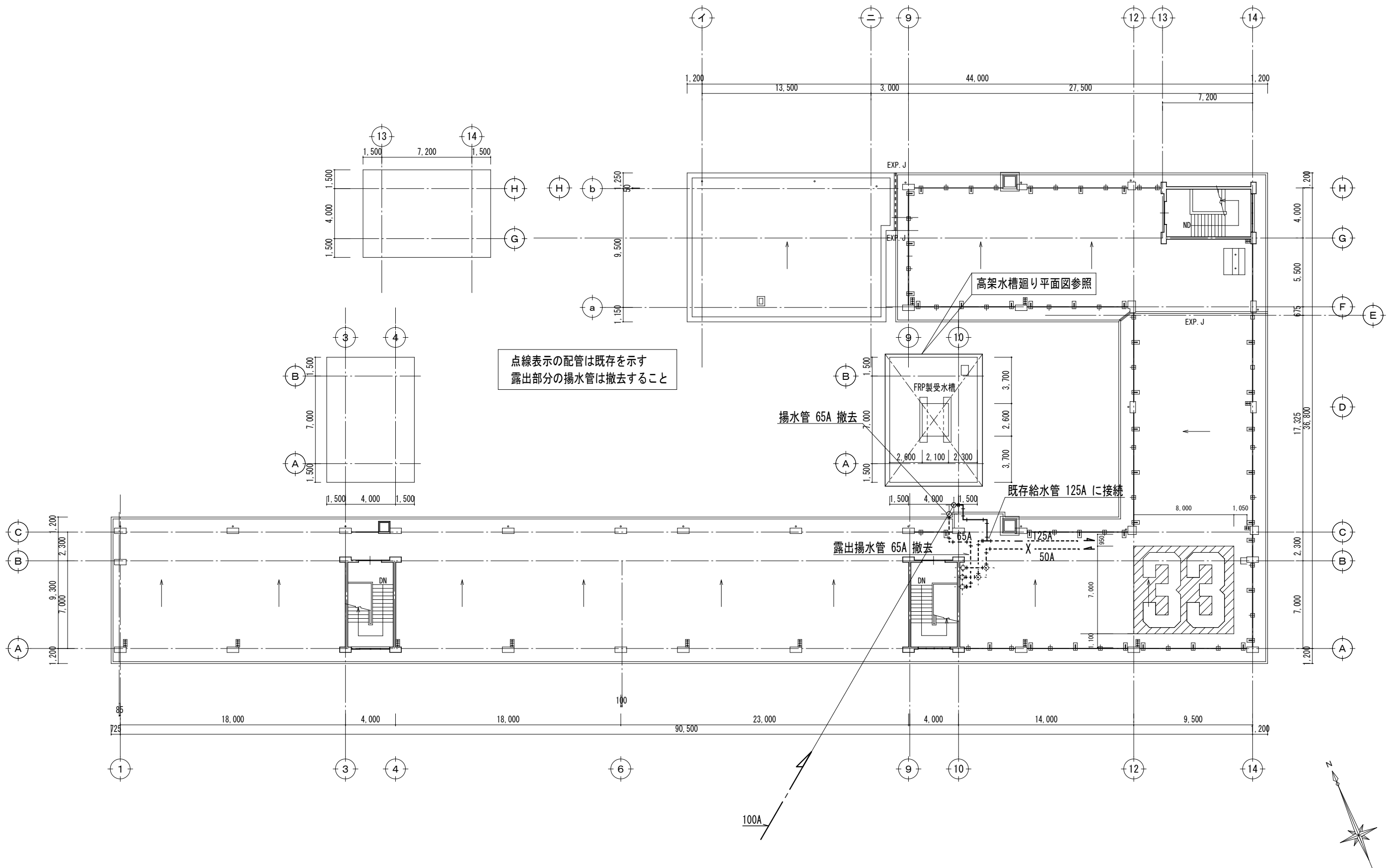


2階 平面図 S=1:300

工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 2階平面図	縮尺 1:300	図面番号 M-11
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------	-------------	--------------

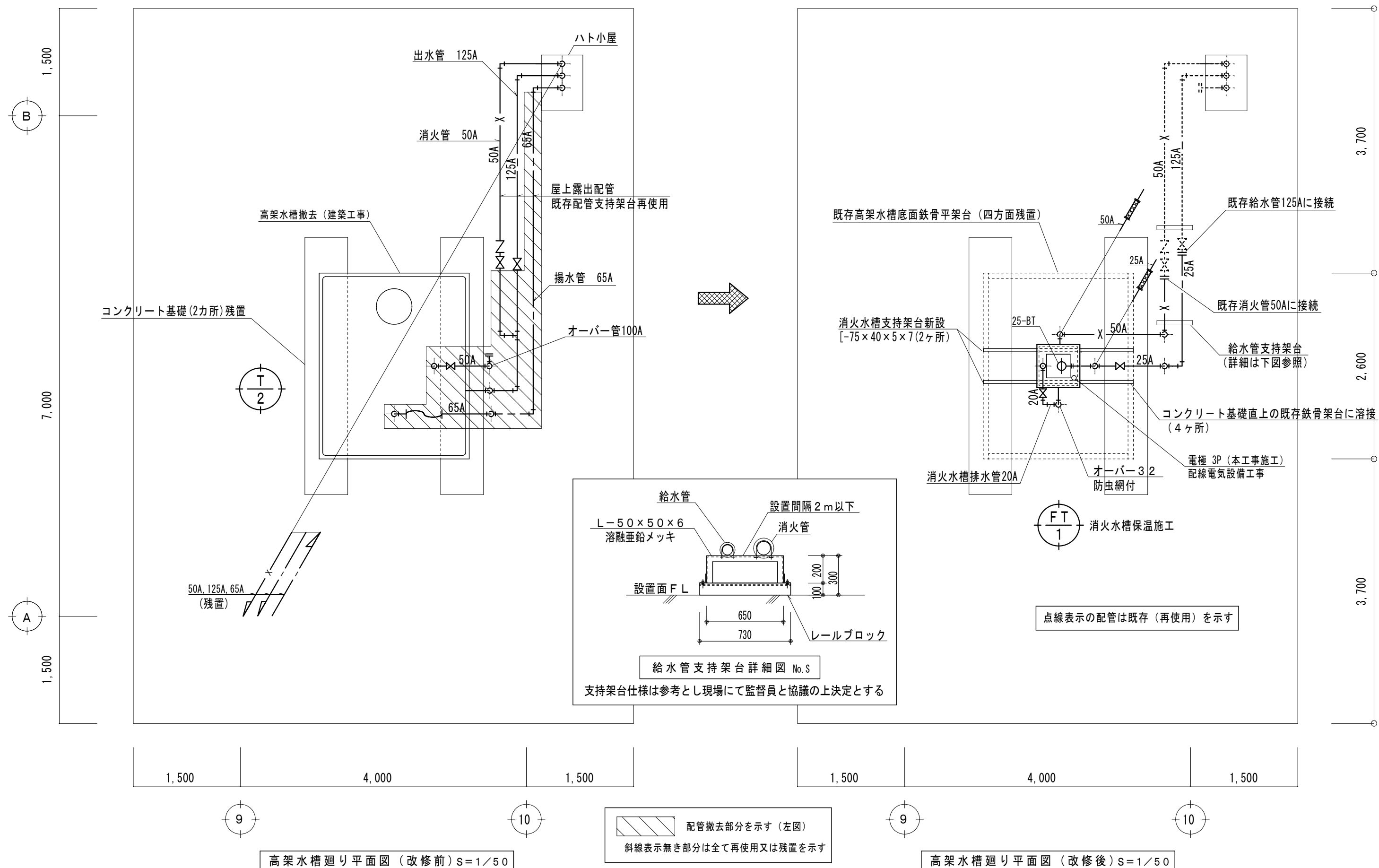


工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 3階平面図	縮尺 1:300	図面番号 M-12
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------	-------------	--------------

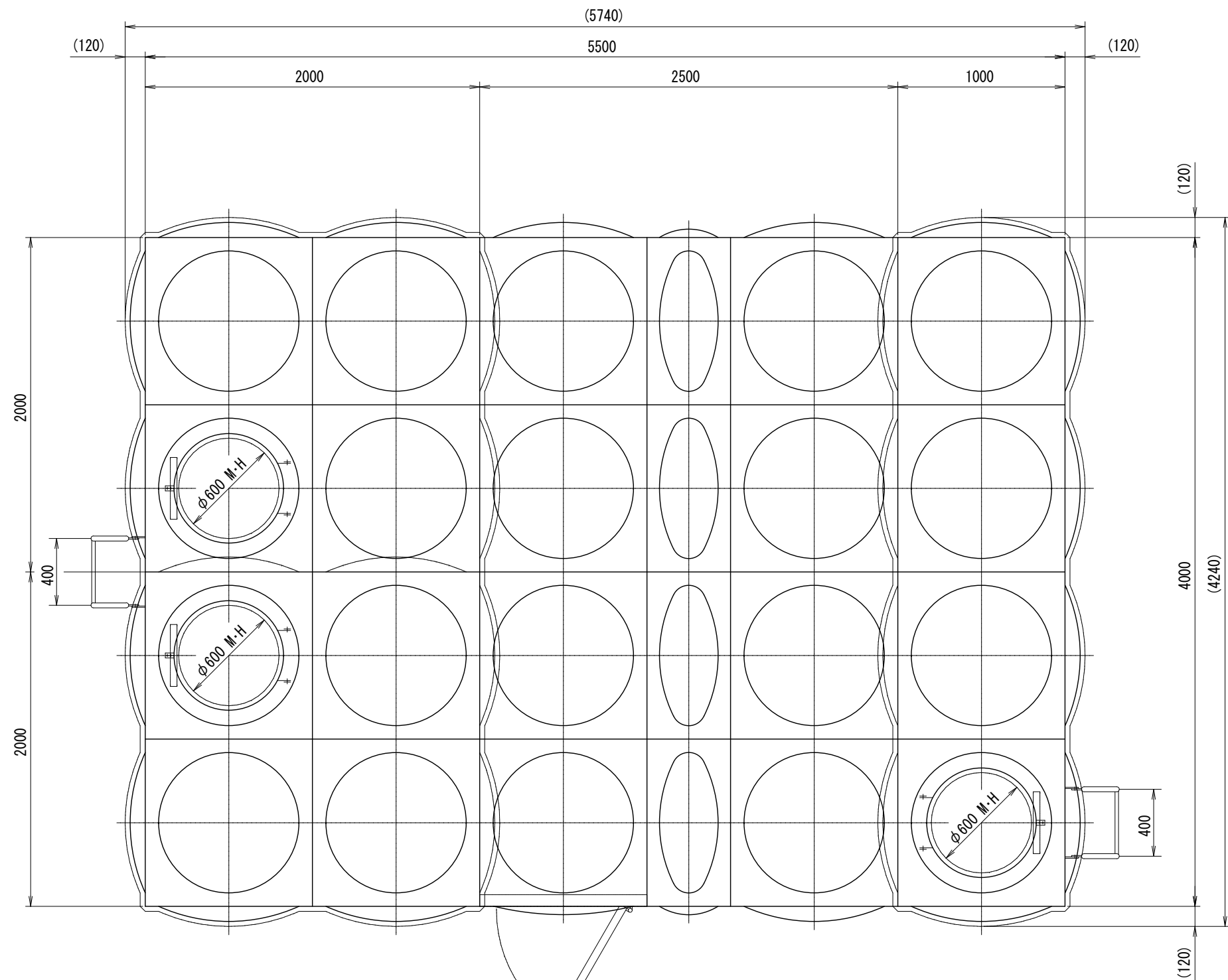


R階平面図 S=1:300

工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 R階平面図	縮尺 1:300	図面番号 M-13
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------	-------------	--------------



工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 高架水槽廻り平面図（改修前後）	縮尺 1：50	図面番号 M-14
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	-------------------------	------------	--------------



受水槽

ポンプ室

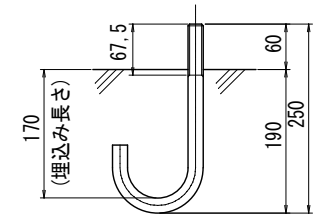
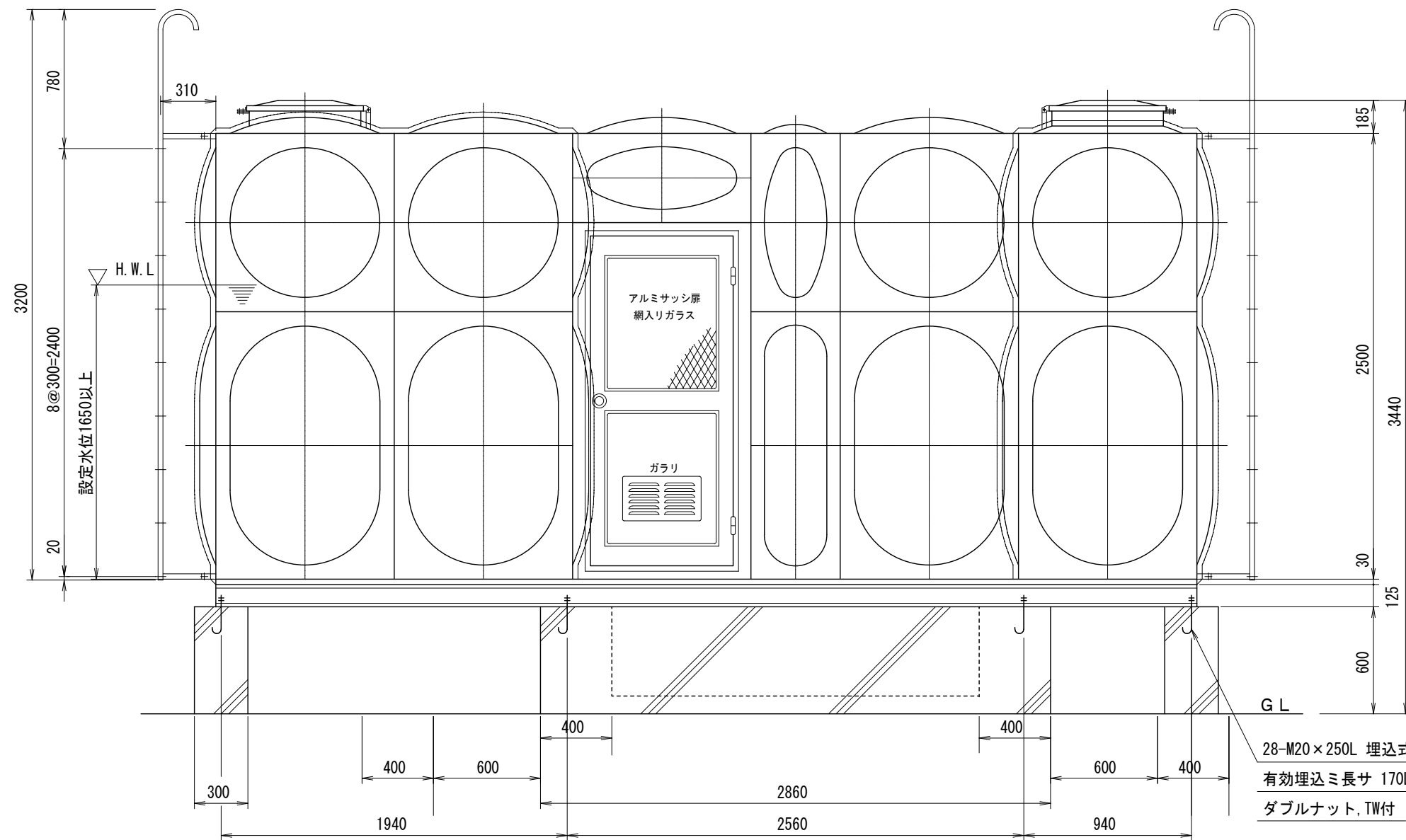
消火水槽

受水槽 + ポンプ室平面図 S=1/30

○飲用水槽は有効13.5m³以上確保すること。
○消火水槽容量は有効5.2m³以上確保すること。

ステンレスパネル溶接形ポンプ室付受水槽・消火水槽仕様			1基 S=1/30
寸 法	4000 × 5500 × 2500 H		
本 体	受 水 槽	天井板, 側板上段	SUS329J4L-1.5t
		側板下段, 底板	SUS444-2.0t
		仕切板上段は、側板に準ずる。	
		仕切板下段は、SUS444-2.5tとする。	
	消火水槽	天井板, 側板上段	SUS444-1.5t
		側板下段, 底板	SUS444-2.0t
補 強	ポンプ室		SUS444-1.5t
	受 水 槽	L-30×30×2	SUS329J4L
		L-30×30×3 L-40×40×5	SUS304A
	消火水槽	L-40×40×5	SUS304A
タラップ	受 水 槽	内：L-30×30×2	SUS329J4L
		外：STK-φ27.2、RB-φ16	SS400
	消火水槽	内：L-30×30×2	SUS444
		外：STK-φ27.2、RB-φ16	SS400
受 台	4000 × 5500 × 125 H		
	部材：別図面参照		
保 温	水槽のみ		
	30mm発泡ポリスチレンの上、0.8mmアルミラッキング		
仕 上	SUS溶接部酸洗い仕上		
	受台：溶融亜鉛メッキ（外タラップ共）		
質 量	本体：2450 kg 受台：560 kg 計：3010 kg		
	埋込式J型アンカーボルト（SUS304）、ダブルナット、SW含む		
特 記	耐震：KH=1.5		
	現場組立		
	パネル表面防眩仕様（底板、仕切板除く）		
	受水槽の満水位（HWL）は必ずSUS329J4L使用部分内に設定すること。		
	（満水位をこの範囲外に設定して使用すると腐食することがあるため。）		

工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図 面 名 称 受水槽 + ポンプ室平面図（参考図）	縮 尺 1 : 30	図 面 番 号 M-15
---------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	-------------------------------	---------------	-----------------

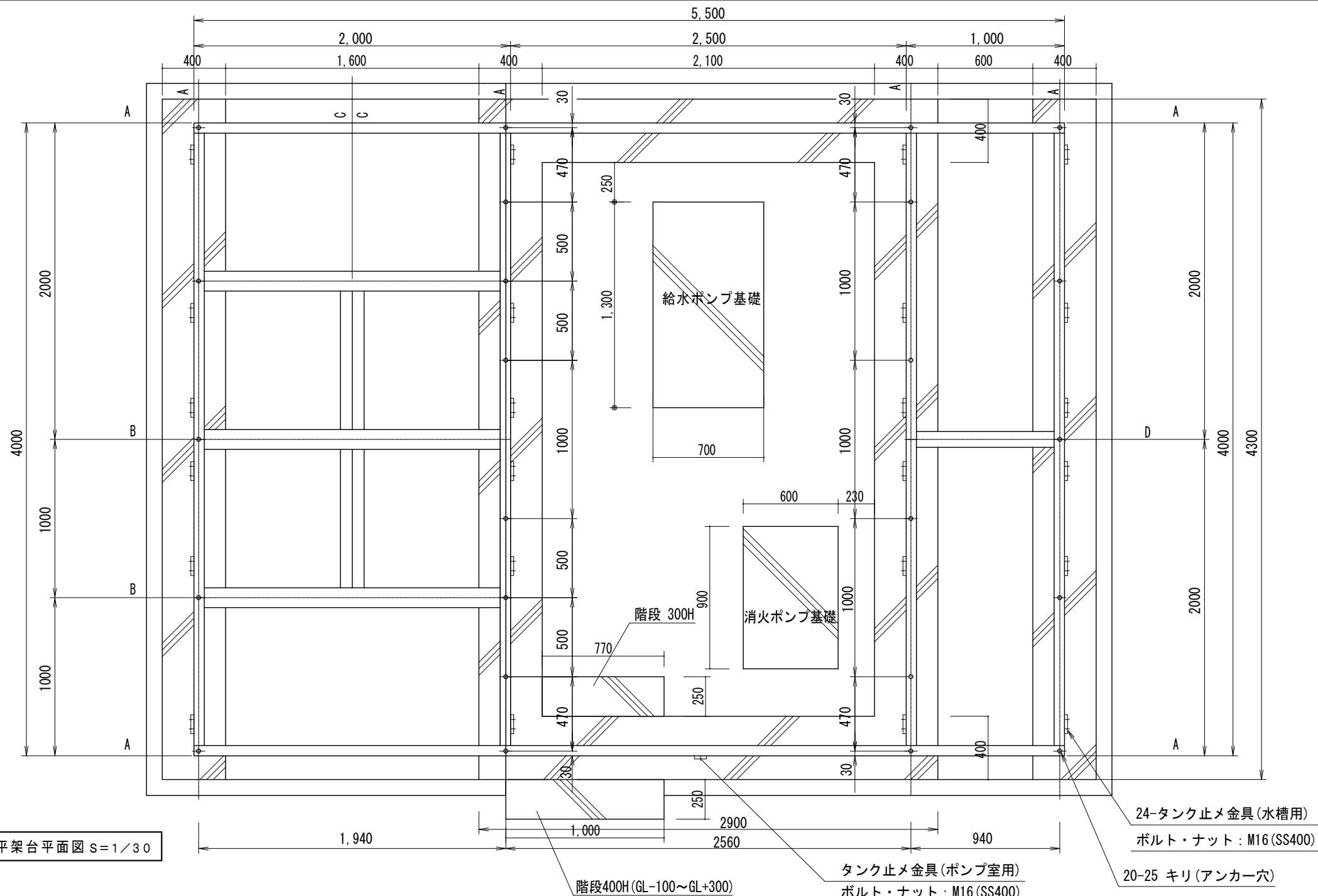


アンカーボルト詳細図 S=1/10

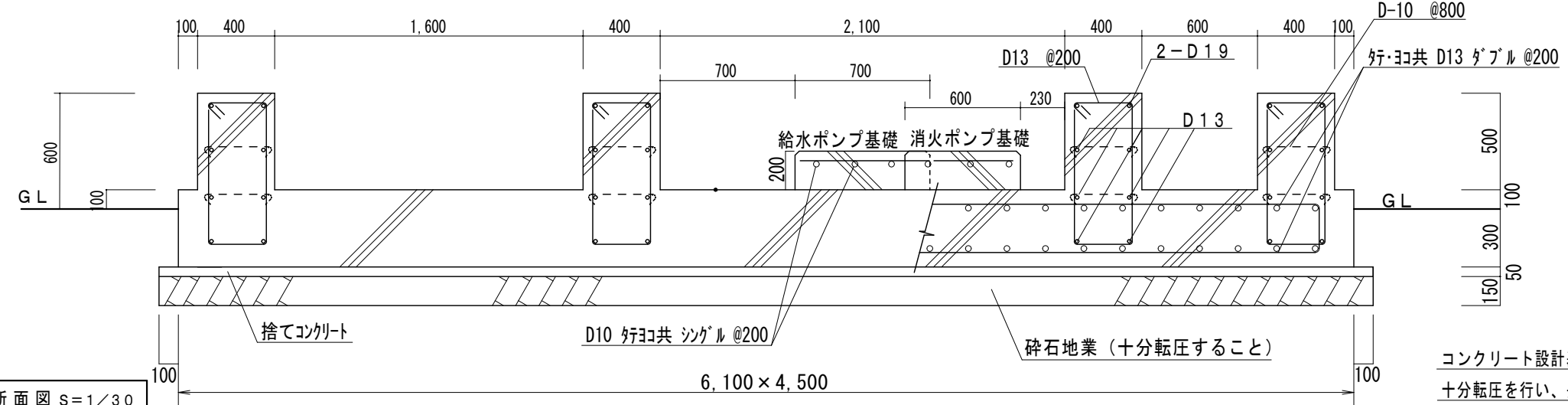
28-M20×250L 埋込式J型アンカーボルト(SUS304)
有効埋込ミ長さ 170L
ダブルナット, TW付

受水槽＋ポンプ室立面図 S=1/30

工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 受水槽＋ポンプ室立面図（参考図）	縮尺 1：30	図面番号 M-16
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	--------------------------	------------	--------------

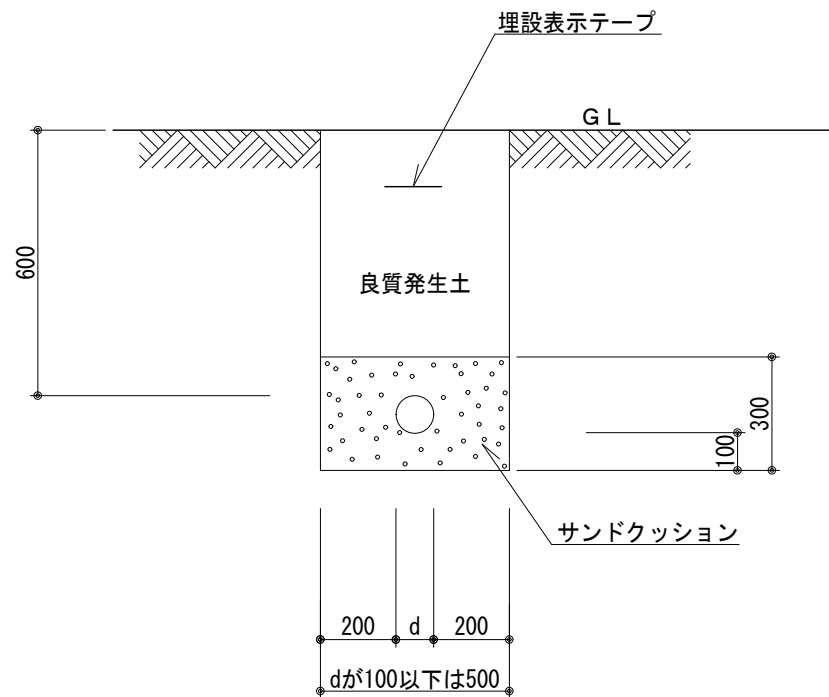


受水槽＋ポンプ室基礎・平架台平面図 S=1/30



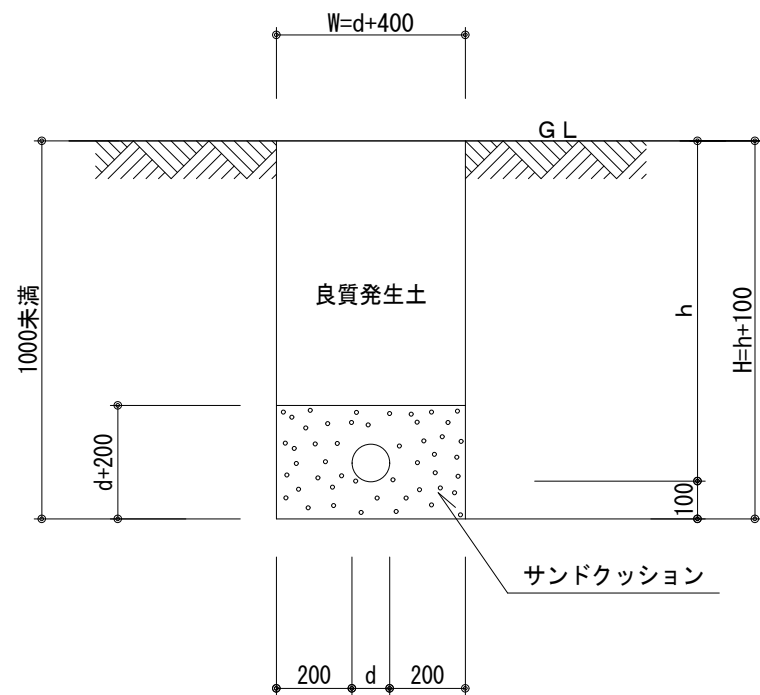
受水槽＋ポンプ室基礎断面図 S=1/30

工事名称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図面名称 受水槽＋ポンプ室平架台・基礎平面図（参考図）	縮尺 1：30	図面番号 M-17
------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	--------------------------------	------------	--------------



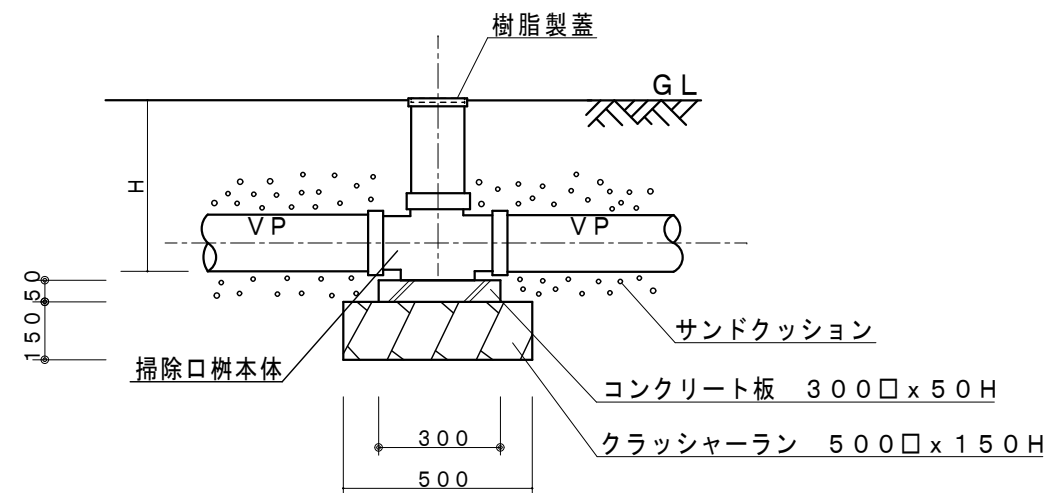
屋外給水管・消火管埋設断面図

※掘削幅は参考とする。



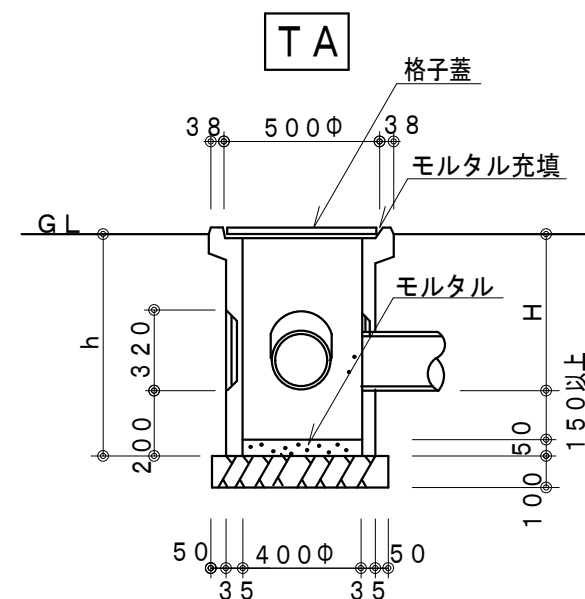
屋外排水管埋設断面図

※掘削幅は参考とする。



掃除口桝と排水管の接続には、V P 変換ソケットを用いる。

塩ビ桝詳細図



コンクリート製ため桝詳細図

た め 記	桝 号	深 さ H	マンホールカバー 防 臭 ふ た	備 考	
T A	1 A	H<= 400	MHAR-400	h=630	側塊は住宅、都市整備公団形とし、遠心力方法による鉄筋入りコンクリートとする。
T A	1 B		MHBR-400		
T A	2 A	400<H<= 500	MHAR-400	h=730	
T A	2 B		MHBR-400		
T A	3 A	500<H<= 600	MHAR-400	h=830	
T A	3 B		MHBR-400		

(注) MHARは安全荷重1500kgとし6000kg以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。

(注) MHBRは安全荷重 500kgとし2000kg以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。

工 事 名 称	南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2025.08	図 面 名 称 桝類詳細図、屋外配管埋設断面図	縮 尺 No. S	図 面 番 号 M-18
---------	-------------	-------------------------------------	---	------------------	----------------------------	--------------	-----------------